明にして中職八時十五分より再び について打合せた後同五十五分より再び について打合せた後同五十五分より再び

して大連さ東京さな繋ぐ記念す

が、このテストによつて得た紹果 たが、大連では一時間に重つてテストを完了した 日満電話は二日十三分から八時五十分にいたる教

トツブが切られ七時五

日滿無線

干リ

二日東京支社電話』米

強調し質した

地番一批可順公東市運大 社報日洲滿 社會式株 所行要

栗原外務調査部長談種懸案もボット解決

遠藤廳長を

飯島少佐榮轉

岡田首相招待

# 任滿機關改組

## 主張する

# 大使館の官制改正

でようとする拓務省關係の機關を滿洲で皆無にする一元的改正で、贓東州の獨立的存在は日滿兩國の職車州をも一括して全權大使に歸屬せしめ、中央の命令系統は總理大臣に直屬して一途に出陸軍案は駐滿大使館の官制を改正し外交の外、行政權をも與へ現在における附屬地の外、關聯東聯の行政區域を騙東州殴りさら、現在の附顧地行政艦で消亡監督艦を強権大使の艦鹿さら二位一艘に改正せんさするものであるが、陸軍兩省は提案の內容において必ずしも一致せず、外務貨業は資外送艦を附屬地行政権の搬産返還を見越ら、陸軍兩省は提案の內容において必ずしも一致せず、外務貨業は資外送艦を附屬地行政権の搬産返還を見越ら、陸軍兩省は提案の內容において必ずしも一致せず、外務貨業は資外送艦を附屬地行政権の搬産返還を見越ら、陸軍兩省は提案の內容において必ずしも一致せず、外務貨業は資外送艦を附属地行政権の搬産返還を見越ら、陸軍兩省は提案の內容に対し、 故に外、陸二省が一致して接移省に驚る事は具體師には出来の關係にあり、三者三樣の搭案を以て論等

に協力日本を牽制 然しある程度の妥協は覺悟 米國の海軍會議方

50

米國の見解では現在英米の一議に繋ずる根本方針に関すると述べてゐる點を重視して一日本であるさ稱してゐる、軍 海軍力が 総統融よりはる であるさ概じてゐるにもがらず日本不足してゐるに根近じてゐる事態を であるさ概じてゐる。東極會 は常然パリティーを要求 れは日本外交上の

れが日本の奥意さずれば米層さし、 は野野町にこれを担否する、佐 沙湾 |文上の | は日本に責任を負はしめる方針でして来る | の策を講じ、萬一決裂した場合に るためにも

本 5 一九三五年の軍職会議において を見ない場合会議次製を離せする ではワシントン條約並びにロンドン の意向ある點については無心の注意 とまでも現職維持の方針を以て押した空軍の機器計畫等を以て日本 し速むか、或る程度の安徽は已む 臓を薬縁して出来待る陛り会議を しきむか、或る程度の安徽は已む 臓を薬縁して出来待る陛り会議を したました した 一次製造の遺憾競争、砲口鞭争並 た しまむか、或る程度の安徽は已む した 一次製造の遺憾競争、砲口鞭争並 た しまむか、或る程度の安徽は已む 臓を薬縁して出来待る陛り会議を したま 問題討議の會議を軍機に併行して暗礁に乗上げる時は、別幡に統治 でれた主張し、軍権それ自働が 力な武器であるから者し日本が絶 であるから者し日本が絶

満洲は認識淺~ 意見は保留 けふ着任の 郡山滿鐵理事談

紅引に過ぎない、

低の鸛山智氏は藍鬼獣低のため二一連といが繋続卒業後旅跡館に十年旅券強務券展記より湍龗理事に新一日午前八時入港のうらる丸にて来

は結局状態にむ

なった

(寫眞は東京支社を

無線電話の

けさ本社でテスト

重要ニュー

スを交換

明瞭に通話

けふの日滿電話成績

して無機幅の総部や継ぎの電波が おたばめたさころ「ボーダス」と稱

のた道話の電流の一部が戻って来一般就逃避シーの大道話の電流の一部が戻って来一端が見いていません。

**吹、金澤**とは

米平和促進の建前な依然機械す行ふ外はない、従ってそれ迄は も日本側に何等の言質を乗へない 政治協定 、他つてそれ返ば日

外務省調査部長に影響の天典書録事票原正氏は赴低の途二日入港長平鬼で本連した、在低十一ヶ月衛

▲田中作二氏(住友饗鋼取締役)

告氏(华頭事務所工務長) 一氏(灌鎖囑託)同上 一二氏(灌鎖囑託)同上

人の爲めに、一つ仲人役を引

そいつア柄に

管り前の人よりも

淵義雄氏(住友製作所員)

ト重役)

▲富田執介氏(阪大教授)二日入港の奉天丸にて來連

明旧ならむ

君嫁ぐ日は

(鄉國務總理令息)同一

特野夫妻を前に

かの娘を嫁がせる片製のやうに

滿洲問題

ることを回避するといふにあ

るたがけに各方酸よりその鞭係を をにおけるすべての情味も一酸素 をにおけるすべての情味も一酸素

さいふにあり

※國は或程度の腰歩をしてもこれ が突襲に導かざる様にさの焦慮は 否定するここが出來ない、而して 技術上不可能で從つて三七年度よ 直に第三次擴張計畫なフル

蘇聯官憲勝手に

ス總領事歸國

の在哈蘇聯總領事スラウッキー 日養國通】病氣臥床

| 特派は施履本氏は中央政府の調金に基さ七月三十一日附公文を以てに基さ七月三十一日附公文を以て

の飛んだい

飛んで越境しながら、飛ばわさ

角

小言の云ひ手なりでせ

ん、お館に行ってから、

「まあ、

をする程態兵衛の人間の住さに

それこそ飛んでもない奴

満を履けた氏は 出海への記者さず

郡山理事挨拶

すべい。 が先きに走つた。

常局の認可より「触り車」の方 その「離り車」な、密局が逆行 態々珍談の

國境標識 滿洲國當局嚴重抗議 酸を移動 の不法行為さ無一奏部の意見は既る強硬である。東京間の国境一般り北義の不誠意に對し滿洲國中

かやつて居っ 國境標識また越境、赤い標識は

つて「一機能はどう んで一元的欧正へ、

の能率なわげ得るここが明らかさ がいて来源の分は製養信さも各 下・ 残じた、なほ右のほか午前中に申して 米だ一般に徹底されてゐないせ 押ゆれば逆情りてはる深人形。

食社及の大連電話局常局では左の右本社のテストの結果に願し電々 不良狀態を 研究調整 電々當局語る

野は、態兵衛の腕のうちを押し記れ、野は、態兵衛の腕のうちを押し記れて、狩 青玉よ りが手に秘めし

電話六六七三

得。

言の云へる柄ちや 天下に帰人の歌 さ惣兵衛さちや、さう云つちや「全くれの僕等から見れば、三

生、かかるのやうな若

〇滿洲 國度 ◎滿洲國稅關輸出入稅々則 〇滿洲國稅關通關手續 交通 經濟 政治 總覽 口綸 **業地間** 金融、貿易、 交、法制、教育、社會行政、財政、軍事、外 最新議洲國全國 量衡法

満洲の實情は



建國の經緯、國土、戶口



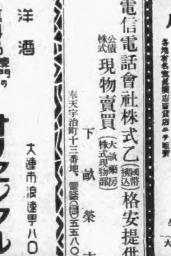




商 社 報

















太郎

(75)

今村司令長官挨拶

南支は概して平穏

観察をかね演習のため來航した

高須出雲艦長の談

**湯真(上)横痕高商野球部一行(下)澤村國太郎で真子** 

暗霊低く乗れ権める旅順落外にまつた頃、威風堂々波浪を戦つ

表し、同四十五分枝原司令官は退

い花束を贈り歓迎の意を

能する

◆…菱刈願東長宜は三日午後常

手に打ち振る旅順各學校生徒そ

の各艦長は李艦民族

歌迎 の裸に東濱南岸艦に

本年度全國高等敦門縣依野球大會二日入港のうちる

野球部來連 橫濱高等商業

第二部に優勝した機器高等機器製

うらる丸の客

木の花會一行

製場にて 能

れる僚紙大連新闻並

画、邦樂に淋じい

賑やかに來連

行二十名は日活

に御り見得するさ に御り見得するさ に御り見得するさ に知り見得するさ

原甲将は久保田参謀長以下幕はけさなつた、旅順要添部司令

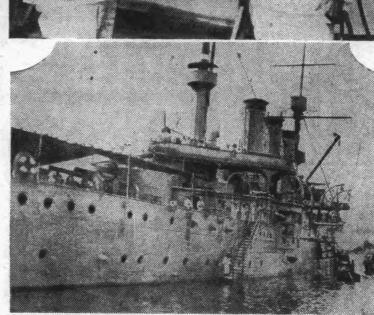
関する研究會に臨んだ

最低今村低次郎中春、参謀長裔線艦打ち揃って二日午前六時司

不僚 の搭巻す

第二艦隊旅順入港 核原要港部司令官の握手【下】族艦出墨

中等野球大會に



## 職人来る十三日より大阪甲子間 頼主催の公園中等整校野職大會 出場の大連商業 十回以上出場で表彰されん

天津の試合 スパし、懸動ウ

本租界豊富』 本部第一回版 田子後四時四十五分よ

ンゲーム 連賞業對アー

大連滿俱チ

夏の御進物には日持よき御菓子を!

パウンドケー

□ 本一、00 元本一、00 競銭

赤坂に陣取る

「東京二日養園通」八月五日から 大き流溯原奏部チームは流板の繋 大き流溯原奏部チームは流板の繋 大き流溯原奏部チームは流板の繋

日覆

主將の二人は交々優勝の抱負を

發最明品新

を 大阪西島江戸城南海 一大阪西島江戸城南海 一大阪西島江戸城南道二戸城南道二戸日 大阪西島江戸城南道二丁日 一大阪西島江戸城南道二丁日 一大阪西島 一大 一大阪西島 一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大 日本 一大 一大 一大 日本 一大 一大 日本 一大 日本 一大 日本 一大 日本 一大 日本 一大 日本 日本

日本酒業への奉仕

、徳界で

## 赤痢大はやり 大連署管内だけて罹病者が

なこさは近年にない理察さらて歌いと市内の無貌病院はごこも超清道 いか有機で、その野生率の深端にないる経済道 い 飲み過ぎたり 飲み過ぎたり 飲み過ぎたり 飲み過ぎたり 飲み過ぎたり 飲み過ぎたり なったさいつて冷たい飲料水を 器る なったさいつて冷たい飲料水を 器と が解えなってをり、この場合、 器を が解えなってをり、この場合、 器を が解えなってをり、この場合、 器を が解えなってをり、この場合、 器を が解えなってをり、この場合、 のでは、 つてるるが爾天又は蘇天から啄天 殿命えなせのやう一般の注意を経生の日本のはこれが財産に大蔵さな 海水 て版を常頼させたり 週間に五十

してゐる

打揚げる煙花の音も勇まり

けさ旅順全市

大連の歓迎打合せ

浦人居住者が多い關係である、 常人居住者が多い關係である、 常

れた大型

タク

三日午前十時能公師、在郷東人館の代表者は大連市役所に参集して来連ずる第三艦隊の観光方法を

頭に乃木町な行進と東参道より行程は三日午前九時より軍樂隊を先

明日は

家賃を上げる匪賊 るので大型師では背に腹は替へ離 つて現 要等日を逐って凝乱さなりついめ 関す裏 が、記をクさの てかい があり大型繁素者に続からぬショ 乗客が でなって凝乱さなりついめ 関す裏

会に在設定既主なるものを搭供戦 等少数無順が緩村に於いて人質さ ◆…今村第三艦隊前舎長官は三 馬車城は少くなつたが高粱繁茂駒 より宿城の袈裟地帯に砂蔵する 都 日午後六時より蔵金鑑ヤマトホテ に入り少数無順が緩村に於いて人質さ ルに在設定既主なるものを搭供戦 等少数無順が緩村に於いて人質さ を本し家族は昂騰の袈裟地帯に砂蔵する 都 して独教したがため家族の挑談 して独教したがため家族の挑談

當局の

走ってゐる有樣である、これに野一蹶可は飛ぎ 認可を使たすし

形式に過ぎれてい 小歌

本学 し大連整体安原ではさきに自動車 理熱を基するに歪つてゐる、よっ 教育が耐り取の料金は半様さきめ 離井組合屋を接続では二日午前採度 いって現在では盆市の大強繁製着の でからつてある今日、全更もさに から 電気が耐り取り料金は半様さきめ 離井組合屋を接続では二日午前採度 から できますることは以つての外 かって現在では盆市の大強繁製着の である、今後所り車が牛機料金 中の である、今後所り車が牛機料金 中の である、今後所り車が牛機料金 中の である、今後所り車が牛機料金 中の である、今後所り車が牛機料金 中の である、今後所り車が牛機料金 中の できなる。

語るでも連備されてゐる、山田會長 金剛の 心の大義に則つて来たもの。

特別市公審教育科

滋强飲料 とし。

四人

全国六十萬の使職をもつて組織された日本神豊舎は不習慣行、繁々 神農會 てゐる中 同志を糾合して 良長男

・整裁レザー

自 鹿 三越嘉寶 室 町 の五種でありる

安兵衛

三かかり

**多本商** 大建市伊勢斯

盟軍

別。畑

酒冷酒

松料一式

一日、二日、三日の三日間粗品呈上

五郎八茶碗 | 杯页与己

(I

**養**表によるさ本年七

献き豊田熊病院長は

所に支部を設け神農の道を調査
下に本部を東京に全國子六百餘ケ
下に本部を東京に全國子六百餘ケ 部を設け新美派洲國にも同志をでは新に盟邦浦洲國にも本 踏んで日本主義に生 あるがこの日本神

B

めてるる、由来この神豊の流れ を実際く秘事の名の下に である。 試驗期日 採用人員

日滿國語、日滿食話、口頭試問 月給剛帯百圓より二百圓迄 **巡市西崗子公學堂** 京特別市自强小學**校** 

申込期限 日本人一名、滿洲人五名男女何れ

申込場所 **卒業證明證寫、寫眞、受驗希望場所提出** 

最高級ボルド 新京特別 身健全なる者 市 公 厚司エリ のれん 宣傳機 印物一式

・幕 幟 場互染内代

御相談に應じます **電話六五四四番** ス ウ井スキー 鑛業

## 通関と運送の御用は・・・ **丸友洋行** 電話長八六四三大連市愛宕町二

# 夏浦雪蚊帳は公三河屋(西廣場近)

國 御 拶

活 H

7 社超大特作 大 好 評!!

舶未ピア 安 迅 T 入各荷種



東京一日登園通 先頭末頼らた 東那女麼の総舎選氏の第で文整研 が最さらて知られてゐる周惟人及 が最まらて知られてゐる周惟人及 が北離の職氏を纏つて日本文意整 いな難らい他でが避つてゐる

南西の風驟雨模様後晴 10時 2分 1 日 三 日 三 日

各地溫度

(二百年前十一時) 五 斯 京 二九 五 斯 京 二九

歡迎會

支那文人來朝

天気予報・

岡千

ルサ

サウンド版

ユナイ

讚!

足輕出世物語

工参事に登格した 工参事に登格した 工参事に登格した

日より五

日まで



三郎のが不深場から出て、手を洗し愕さ入りましたテ。手前は、滅

天狗」は前脚を下して、一大狗」は前脚を

「著夫婦試験別層」の興味は、先 見て、願西縣を巧に乗して奉献録
 か づ枝窓即が原作したナンセンス物。 が果を一人であげてゐる、トーキか づ枝窓即が原作したナンセンス物。 が果を一人であげてゐる、トーキか づ枝窓即が原作したナンセンス物。 が果を一人であげてゐる、トーキか 「著夫婦試験別層」の興味は、先 見て、願西縣を巧に乗して奉献録

日活館次週上映々畵

飯事に託して自分の変か、チラリ 前からことにぬたやうに、日歌茶 に、日歌茶

初めて

和與洋行合資會社
本店大連市人方町一〇番地
電話六二四九

後屋質后

洋服頻奮勞

九二七南電・三七九阪替振

避

日

日活時代別都スター灣村威太郎は 大親と日活館の國ステージに立て来連したが、三日から三日間。 郷を見せるさ

三日から日活館のステージで

御目見得挨拶ご舞踊

川畑文子特別出演の

の情報のために、かなりの主 つて思慮深 の情報のからで、整幅から飛び出し 「断端かる」 で、整幅から飛び出し 「断端かる」

忘

・子輝城三・葉双下木・郎太章

滿洲日報(廣告部)電話四四九一番 用命次第參上
アインド取付を主義の主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義と主義を主義という。

索應院八 跡院医坂小元

**苗六九三六話電 四町渡佐市連大** 

果権的で絶大なり と が ら ざる 必 語 品 な ら いもれる 前質の優良品にもて使用至って極便物でルセル石 前間質の優良品にもて使用至って極便物をルセル石 前質の優良品にもて使用至って極度が For all fine laundering MANCHURIA SOAP CO

各地有名なる洋品店・化粧品店 毛糸店・薬店にあり 滿洲石鹼株式會社



暑中 滿 電話二五〇八新京大和通三番地取引所前

御見舞申上候

·連盛進

東京の純天然果實 スカツシ 設育盛りの御見機に四季を通じての滋強好飲料

天然果汁をあえて御物めす

キリンありて 御贈答用 指化粧凾 到る處に 共 進 洋 行

社會式株酒麥鱗麒







店理代總洲滿社會品粧化ンアピンボ國米 號二十二百面書私選大

電型上屋

Columbia

フガーデンにて

| 日 (毎夕七時半

荒川清子氏指導

歌は上品で朗らか、 踊は簡單な體育踊

洲 盆り 踊

0

ドーコレアビムロコ

リカの地位

(上)

帰高は二

を献、宮有率は六 の第1 を献、宮有率は六 の第1 6 か解 北ローア

能力七千戦、六千戦、千五百戦の を設め三金融であるが、夫々日別い を設め三金融であるが、夫々日別い が、大・日別い

世界の産銅界と

外米輸入

雜穀業者反對

一十日頃愈々公布の運びこれる機構 であるが、一日午後一時より管業 者参集、右調査局設立につき第一 者参集、右調査局設立につき第一 の連絡であるが、一日午後一時より管業

米穀貯藏尚豐富だとて

北鐵南部線

運賃割引に反對

收入を無視する行爲だと

不假の昂騰に鑑み外國米 は

本月中 消鐵輸送量 前年同期對

浦銀々道部七月中の貨物機輸送量 電部総の運行復態を理由に南部総の運行復態を理由に南部総の運行復態を理由に南部総の連合を開めて政治の地域における北震法保受託中止解除方を申出たが、避監北線・中止解除方を申出たが、避監北線・中止解除方を申出たが、避監北線・中止ので減ぎによる法保受託中止のでは、金米米額による法保受託中止ののでは、金米米額の運用である。

外微 の要求を一職した機械である ・上の みれば解除する旨を興奮しれ無い ・上の みれば解除する旨を興奮して監 ・上の みれば解除する旨を興奮しれ無い ・上の みれば解除する旨を興奮しれ無い ・上の みれば解除する旨を興奮しれ無い ・一般した機械である

郵船の

直通船着埠

港のうちる丸にて静速した郷のため四地に起いてらたが一地に起いてらたが野につき

地の無臓な魔理することが出来る 他の悪鍼能力は早七萬寒戦に逃す べく、然も生産費は他の二趾にむす は他の三趾にむのさという。

語科支出が本年度を以て完了する て 満洲に帰送してゐたものを、去僧は 選と は | は | 大に 野する | と 微来 麻然ジュート 等を 香港接載に 以て一時を 類び

年産の八割は

購聯と契約 滿化の製品全部約定濟 から歸連の 右近常務談

定期喰合高

金幣製 現物

大連若狹町三(西通入口) 腎肺機尖 呼吸器 話六五六五掛 **血** 脚 膜 及 及 )小学校前 化器慢 電セセセ大 婦人内科 医学博士 X線完備 入院隨時 性病

國防院、金の保有に專念

蘇聯の産金高

世界第一

北鐵李督辦語る

書に輸送上題だしい職様に置進し ながらも、前年同島地三十三萬餘 るがこれな各郷別に示せば(単位 地方といるを郷別に示せば(単位

北鐵の混保受託中止 解除要求を一蹴

**木米** 大連縣競型完六 大連縣競叉 電優長 位、質質主義の施設

さは極力回

土建協会の統制の

| 版日浦旁務協會に

直に影響され、

井子工場にて勢物

た成大出来さい ふべき

日產軟

のルピン以北京 北滿發直通貨 運賃八

是敬運動については となった、国時に南 を定した、但と独選 ので、国時に南 月末迄繼續

萬題の確認が早くも全部先約定

大豆軟調銀高と賣物に 市 況

手形交換高口 1、先至10公司 九八四元六九八四元六九八四元六 8

性 門虫 済生医院 電話七八八十七十八八十七十二河町二 院長鳴尾道













殿

安富敏

(四六版二百五十頁美本)必須参考連株の知識

の北殿京憲織教総様に臨門郡田南「合能五経さなる第である。べく財上戦争中で、この総委同畿」運搬二戦、浄機郡田北道総三戦、 國鐵貨車を増大 滯貨一掃に精進

大連九州間

なつて居っ

運動中であり、これが賞さ 大連、長崎間の寒や航路さ 大連鹿児島間の命令航路さ 大連鹿児島間の命令航路さ 大連鹿児島間の寒か航路さ

市場電

**一般基本的** 

命令

大き城、路 たらん いものがあり、殿に野 のこまである ままれた 原元 か、これも近々 一般であった と が、これも近々 一般であった アー 一般である が、これも近々 一般であった アー 一般である が、これも近々 一般であった アー 一般である が、これも近々 一般であった アー 一般に 野 一 のこまである かいものがあり、殿に野 のこまである かいものがあり、殿に野 のこまである

一次の
 一次の

朝鮮郵船の

(四)

幣移出

苹果檢查令

**剛東廳で立案審議** 

廳令を以て發布か

は5 んとする場合は家庭総典別によった。 をは「髪り、常原の手により会話で、変末一組合が、では「髪り、常原の手により会話で、変末一組合が、変末一組合が、変末で、変末一組合が、変末で、変末一組合が、変末では、変形で、変末では、変形である。

マるものを繋むられてある。 大に賞せん気めてあり、なほ近年 ソ職類は避金額を継野秘密に附し とな製表しない貼ら右さ職職を有 とな製表しない貼ら右さ職職を有

電流 (京城特電二日報) 教総郡(大田) (京城特電二日報) 教総郡(大田) (京城特電二日報) 教総郡(大田) (京城特電二日報) 教総郡(大田) (京城特電二日報) 教総郡(大田) (京城特電二日報) 教総郡(北下本年四月) (京城特電二日報) 教総郡(北下本年四月) (京城特電二日報) 教総郡(北下本年四月) (京城特電二日報) 教総郡(北下本年四月) (京城特電二日報) (京城特電二日報) 教総郡(北下本年四月) (京城特電二日報) 教総郡(北下本年四月) (京城特電二日報) (京城特別・東京城特電工程) (京城特電二日報) (京城特電二日報) (京城特電二日報) (京城特電二日報) (京城特電二日報) (京城特電工程) (京城特定工程) (京城特電工程) (京城特定工程) (京城特電工程) (京城特定工程) (京城特電工程) (京城特電工程) (京城特電工程) (京城特電工程) (京城特定工程) (京

セイロン島に

割當制實施

を るさの見

基本的調査を行

産業調査局を設置

滿洲國の産業政策樹立

「新京特里二日皇」 過程本の水害により新京銀路局管内及が北郷南部、 独憲明郷さら輸送に一大支職部、本主語ること徹底を見てゐるが 輸入鹽類で 

月末鐵道收入

第二回 元州云 元州云

前年比七四四萬圓增收

輸送準備に 特産出廻期の

しては順後左の通り取扱かこさゝ 財政部の命により、纏の輸入に關 と安東特権二日整 安東税組では

滿鐵關係會社

開放委員會第一回開催

上海標金安

綿袋不

税關の取扱

西子萬國に達し前年 北京社会に 本記は三千九百九十 諸記は三千九百九十 諸記は三千九百九十 諸記は三千九百九十 諸記は三千九百九十 諸記は三千九百九十 諸記は三千九百九十 諸記は三千九百九十 諸記は三千九百九十

にその無別を示せ 経営圏の増収を示

したが、専務の進歩を急ぐので二一第 ・ 議委員會は八月一日をもつて成立。 石 ・ 議委員會は八月一日をもつて成立。石

中央卸賣市場 日午後一時半上

◆現物前場○銀建

建築費は低資による べき株の選定

新築案進捗

大連中央郵貨市場新築参輔問題は一練りつ、あり、該案完成を使つて 場外取引に刺媒されていよく到 正式に消鑑さ交渉を行ひ、市働に 1000円 に利取を設定したり無いなる めるぎである、設備は内地大都市 100円 に対して 100円 である 100円 である、設備は内地大都市 100円 であるという。 100円 である 100円 で

勞務者 四日來着

大同貿易主任更迭 0

提保/後込四四〇〇四三〇〇 大豆(操物) 出來高 百五十車 出來高 二十軍 出來高 二十軍 日本高 二十軍 りて南支筋及油屋 利かす軟調な辿っ 用商の質物ありた に伴れて弱きなご に伴れて弱きなご の小口の質もかが 豆胡さ鬼地

編令 米福現物五年イント高、 編令 米福現物五年イント高、 大物五、 ボイント高、 中橋二留 北方安さ外橋區々を傳へ、 米目一 がらあさ駆りに引け、 常市は内地 がらあさ駆りに引け、 常市は内地 がらあさ駆りに引け、 常市は内地 がらあさ取りに引け、 常市は内地 がらあさ取りた移して一般に質感は れ氣味であるが尤も利有筋の手詰 が急ぎ向きもあつだ 金柄 約定期 値 段 梱数 福助 十月限 二二〇四 二〇 同 二十月限 二二〇四 二〇 同 1月日二日 三 四〇

東京 (東京) 東京 ( 

(2) 電代表長五四六番 数四北三條里

大阪期米

拳金票等 (現物 地

沙 票 現物

天 10% 10

州また危し

日本領事軍艦派遣要求

東さなり一日午後三時間江上渡撃 るに比ら繁備力減く萬空を助し継軍さなり一日午後三時間江上渡撃 るに比ら繁備力減く萬空を助し継

ぶ二日愛園通』産業國業の動

率は数に反動ださ 前明してある

綜合的產業政

## 所 行 **發** 香一冊町團公東市連大

宮部光利氏

B紙に貼れてしまった。

世界に義かした、順にヒ元帥は大一多能を加へるであらう。
中して戦闘の教世法さして戦名を一律大なる國賓的存在な

像大なる 関数 6%

對岸大陸にも設置

再切下げ

1.1%

資けで嫌ひの宮部

で 一般式野球大会に出場、

## 務省絕對に廢せず 外務省の産業監督など變態 在滿機構改革問題

# 

要な職信してゐる」と應酬したは依然さして第一位海軍建設の

の部下に繋ずる悪いやりの深さんは立派な近代線セントルさんは立派な近代線セントルかべつ、スムースに語る宮部

的勝利を鼓吹して居ら

石は漸洲國の海軍、

廢棄通告を發せよ

八十四撃の海軍機を逃走する梁定 定らたンソン送撃成立の結果更に一千百 機塞敷を九百十毫に減ゆするに決

海軍の强硬主張不變

大角海根と引我軍機会議に對する方角海根と含まずのが、渡米前大

## 行はれた定例事務次官會議におい一部官長より政府の撤還する総合脈作が更に二日正午より首相官邸で「ちるゝに翌つた、腑ち勝上河田書」を助するの整明さなつて現れ「てこれが営蟹的課題さして取上げ

日本の比率主義反對に反對

民官は現行比率の維持を追溯して 米スワンソン長官の談

一般したら数く さ水を向った さ水を向った

フーヴァ案の

蒸し返しに過ぎぬ

わが海軍當局見解

・アダム氏が今回のウ

の一致せる反

ヒットラー首相

大統領兼攝に決定

でおいて五、五、三の現行比較依において五、五、三の現行比較依において五、五、三の現行比較依において五、五、三の現行比較依において近、大学の計算を表現である。

の神及な楽し着く進行中であるの神及な楽し着く進行中であるの神及な楽し着く進行中である 第代在氏のお膝下側側進司会部 第代在氏のお膝下側側進司会部

獨を除外して ローマ

中等學生に軍

會議提唱

ムツソリーニ首相の對換策

氏は緊急緊急の結果大統領を割べルリン二日養殖通』とフトラ 國葬を執行 アイアックの自邸に興終する。 でもめやかに埋葬の儀が行はねがである 年した悪ひ出の地タンネルベルと 十年前放元 誠がロシアの大軍を粉 る、なは遺骸は放人の気

はヒツトラーの振館でも何でも

墺宣傳相の放送で 獨墺關係惡化 煽動に因るか

時も色良い返事を寒へられず不満保障を懸々要求しながら英國に何代償さして英國にいはば軍事能だ

銀紫の繋行な断行する外に道は

に悪軍備を許ら自員の軍職をな持つものである、一方從來ドイ

てあるがボールドウイン氏の

改成策に関し何等かの

を受けつ、あるものな職 るだちうる警戒されてある により集團は帰国の強硬。間に一層電大な外突動機を排来す により集團は帰国の強硬。間に一層電大な外突動機を排来す

故ヒ元帥の に無人されたこさもあつたが一九

使歐洲情勢報告

大蔵公望男は二日午後九時国通】大蔵公望男は二日午後九時 國際政局の動向につき正午迄交

諸官署、電氣、電議會社指定品









東京二日登園通 熊赤線のお野 理の研究に盛りぬきが、 「 報さんは今回願東軍司令部附に紫 無線の館の舞さいはれてぬた人で 報さんは今回願東軍司令部附に紫 無線の館の舞さいはれてぬた人で 報さんは今回願東軍司令部附に紫 無線の館の舞さいはれてぬた人で でいますり、 情下さんは大正十四 紫線楽にかり内地では登園の が満洲園へ赴佐の後をうけて時間 類が

鳩

竹下さん榮轉

關東軍司令部附

Ξ

月

八年

るはずであ

滿炭礦會社理事長

一人三役の河本理事

孫文未亡人活動

の命の親

満海院機械式館社の理事是は十高 は二氏が浦郷理事選位と共に勧表 は二氏が浦郷理事選位と共に勧表 

理事が兼ねることが最

秋ごろまでには

優れた人が欲り

遠藤總務廳長東京で

通鉄地方部の振客は山西理事 新舊地方部擔

「東京二日養國通」後藤内相は二 あつたが既に午餐食料で後午後二 なり除かれまた。 「東京二日養國通」後藤内相は二 あつたが既に午餐食料で後午後二 なり除かれまた。

皇後左の如く諸

栗後

京高島派易斷總本 い信用のある我が高島のでなった。 9 百貨店四階)

世界に誇る機構 (上)

あが如くかき入った歌野歌歌時代に政変された歌音を開いていている。 を動文し、日本内地百六十餘都市 を動文し、日本内地百六十餘都市 を動文し、日本内地百六十餘都市 を動文し、日本内地百六十餘都市 を動文し、日本内地百六十餘都市 を動立した。 を動文し、日本内地百六十餘都市 を動立した。 をした。 をした。

されるや、これな引搬いて設定されるであるが、同年九月浦州電信

年二月その建設計畫を實行に移し新京無線局はわが戦部において昨

0

新しい。耳と口 新京無電局

一年の「演響、正確、秘密の解除」 る技術もが概で現人エンジニャーたる「演響、正確、秘密の解除」 る技術もが概で現人エンジニャー

二九〇 二〇

は

和表現の不勝事性を想起し一大セン は、 はイションを指き起した満洲関協 同 では中央機構を一新し窓間な 信 氏指導に邁進 中央 (化企工) 中央な苦蟻に陥れる事に 特の對日無為な指摘し他力本員 (監督した) 大学 (大学) 中央な苦蟻に陥れる事に 一大会 (大学) 中央な苦蟻に陥れる事に 一大会 (大学) 中央な苦蟻に陥れる事に 一大会 (大学) 中央な苦蟻に指して、大学 (大学) 中央な苦蟻に指して、大学 (大学) 中央な苦蟻に (大学) によって、 (大学) により (大学) 協和會の內容强化 十河氏の後襲ひ

和

九

置むるは些か不可能で

七八〇四八七数

九一、七〇六元である

の世界大戦

地方部増富の重職を汚す事になった、部員各位の御指導に使った、部員各位の御指導に使った機形と中西地方部長の送別の齢 旅順金融組合七

きロシアに迫りつ を戦の観測は大戦 が興へ、日本など 扱ってるる

因李博士

性定医院

Ancient

價

增定

皮性

生殖器障碍 开上醫院 **泤尿器病** 

教権事故疾

皮膚梅毒 重富醫院 常盤様西広場中間大連市西通り



ちは、更に一多を進めて拓務

(版內市)

か軍部を協調して無心に

中央機構を一

對滿政治經濟

R

やってもては原模はない。これ

の正常化

◆総し他歌より

後場市況

市株反撥

△私はロシア町 無情な野

HIMIT

居るのに過ふ時 都です、日本樹

有りのま、なる内容酸明な得んがため酸粧に立動を収むるものである、然るき義務を責ふものである、然るき義務を責ふものである、然る

◆音々受荷主は事故質物の過不足 を記される。

てがはづれた者はがつかりしま

**狼煙は日獨から揚る** ソ聯ゆがめる觀測

のトあるものさの かり、この職員は での放列を敷

月中業績

**一**方方方 世

(編条 (単位十級) (編条 (単位十級) (編条 (単位十級) (10 十月 110名 11100 12 一月 110名 1114名

公開しき三菱重工業の

界 Q 國東方達 製鋼任費



門(入院時時)

とて南浦の湯の街霧臓子を響げるで南浦の湯の街霧臓子を響げ

大冷樂監代賞費さじて五十銭 大冷樂監代賞費さじて五十銭 ・ 一覧回じてゐるさ、など ・ 一覧回じてゐるさ、など ・ 一覧回じを初手節の ・ 一覧回じを加る絵典は ・ 一覧回じを加る絵典は ・ 一覧回じを加る絵典は ・ 一覧回じを加る絵典は ・ 一覧回じを加る絵画は ・ 一覧回じを ・ 一覧回じを

**國分さ入浴療な合してある、但** 

星橋は頑丈

日耐力試験の結果

陳醫員の院葬

成績豫想外に良好

(集論) 観道隊の犠牲的努力によ

日の渡橋式に先だち一日午前九時つて完成せる配管山「星橋」は二

は大人一個七上

【鞍山】濃端子温泉デー

泉羊羹の土産店等設備萬端整備

さになつてあるが、食養は大人

五日湯の街の盛撃

で庭園では機器店を描へて原念物り、船野り、蟹塚も等の脳も

東のない絵製薬

に強り入浴はも

阪屋店先に於いて店員の願を覗

【奉天】後の俗田町にコソ派二つ

第一會場たる清林館、第二會場

たる公園一帯の電師其他親雷、

焼鳥の模擬店から温泉浴衣から

**動店、さては温泉シトロン、** 

**屬勞働會議** 

日本で、これにより国際の治安 日本の個人で、これにより国際の治安 日本の個人で、これにより国際の治安

名である

湯崗子

の温泉デ

第一、第二の會場を綺麗に飾り

任新京鐵路局警務處警務科長

た見せた

新選組織の総模等部補を記述記述 なほ佐々木記選記低と郷路銀扇に 加賀美海城派出所記低速戦等にて 加賀美海城派出所記低速戦等にて 加賀美海城派出所記低速戦等にて 1000年 1000年

中心さも夏季警戒を開始もた 中心さも夏季警戒を開始を は 一日から

【大石橋』本総分水縣を中心さし 新京、チチハル方面に仕向けられて を 選索 を 選索 を 選索 を と ・

殿汎に取り背後地彦田屯、何家室職せられ今年の作付反跳は珠響橋懸ぜられてより自然西瓜耕

憲兵訓練處

に数して民歌歌では教養方法につ 八颗中二十八脈に及んでなりこれ に依る被害は奉天者に於いて五十 に依る被害は奉天者に於いて五十

小屋料一戸當り九

は悪に艦駆艦の魔斑線接触策さし つき取締る方針であるささ云ふ敷を示してゐるか郷生保で 、容器の潔態西瓜切賣のさ云ふ敷を示してゐるか郷生保で 、容器の潔態西瓜切賣の調査を始め露皮、行職人

切實の取締等に の取締等に

營口驛燈火管制

卅一日大成功裡に終る

するならんさ各方面の期待意大で網維する大試合で定めし威烈な早

麥一升 二十四

遼陽署の警戒

總局で採用した

治安指導員

して適雨に繋まれ野官結覧が順調・十天地に及んである土質が弦地に

開處式學行

四合)小人二銭二厘五毛(高 際質者には大人一日三銭(高 の拡漸維挺は天の通りである の拡漸維挺は天の通りである

奉天の傳染病

運管内に於ける七月

小人一人に付三十四

大河が最も多く 大四 五七

四十五名の配置決る

名、警部補十五名、巡查部長十八日新採用者は警戒一名、警部十一

蟻も洩らさぬ緊張ぶり

分水驛の西瓜

活況を呈す

来客の間に大人氣

奉天省の

被害者に救恤金支給

副院長 大阪醫學士 小野 寅 市

| 標古納含を乗り創造を選和自高監|| に関本新一響部権を海域派出所主 | 金剛造之 部一等竹内(級)二等 | 金剛造之 部一等竹内(級)二等 | 金高楽 繁茂 勝野 策の猛賊を整備 | 本村、三等衆田、四等森、五等 | とおけ、三等衆田、四等森、五等 | とおけ、三等衆田、四等森、五等 | とおけ、三等衆田、四等森、五等 | とおけ、三等衆田、四等森、五等 | とおけ、三等衆田、四等森、五等 | した

Ξ

用人都熟証でかけ 突如同山な殿った十五、

任總局整務處整 務副段長 粉件整務員

同務課員

貞維一任洗南鐵路局警務處監

ス遭難事件を契機
として

鞍山當局極度に緊張

が成織第一位であるさ、滿洲國人 の如く試みに少額を強けてし 配金を開始したが東天省では速陽 で全を開始したが東天省では速陽 感慮せるもの なるものが

成教演義捐金を裏り一さのここである

医療の 無難に 見無はれた を動しれても なる はれ 田 地を ない子 を としない こまる ない こまる はい こまる ない こまる はい こまる はい こう にい こう はい こう にい こう はい こう にい こう にい こう にい こう はい こう にい こ

仕ハルピン水

京よりに張軍総部大臣代理多田職との解末吉、王忠起以下多数参照祭工なの解末吉、王忠起以下多数参照祭工なの解末に、日来派権を上 七十名に訓話あり、同十一時半終 れた会補に配置先づ第一回の指導とするは訓話あり、同十一時半終 れた会補に配置先づ第一回の指導

和

新州国参議府数 活州国参議府数

三衛の単態臨時救濟費大

## 滿人も貯金を理解 遼陽は

(可認物便事簡三集)

統総暦を乗へて 開始され 南鮮同 胞に

カフェー 組合

記録が纏頭ら人無の最高潮さも云 公主嶺で計畫

【奉天】最近率天市内に無許可続 お床入りさなるで、何う 芽出度く三々九度のお盃がする 賴母子講取締

新に於ても今後此種の出頭に對し 筋に於ても今後此種の出頭に對し がに於ても今後此種の出頭に對し

獨逸製、馬鹿野耶

例のドイツ人KO事件

治療費員擔で解決

た郵便貯金 送附する計畫であるさ

無の小学者。 無の小学者。

をからによるでは、大学観のなめ、すべい。 一下度が手を取れて舞を作つさいる。 一下度が手を取れて舞を作つさいる。 一下度が手を取れて舞を作つさいる。 一下度が手を取れて舞を作つさいる。 一下度が手を取れて舞を作つさいる。 一下度が手を取れて舞を作っている。 一下度が手を取れて舞を作っている。 一下度が手を取れて舞を作っている。 一下度が手を取れて舞を作っている。 一下度が手を取れて舞を作っている。 一下である。 一下でなる。 一下でなる。 一下である。 一下でなる。 一下でなる。 一下でなる。 一下でなる。 一下でなる。 一下でなる。 一下でなる。

前任職建省主席方歌灣氏が長逝

教官の成績要表に掛れば、その馬教官の成績要表に掛れば、その馬

能は十七歳――際取の出来ごさ。 の大職縣、とうし、それなりけり で都紙郎時候前、桜原十五餘、花 支那族西省の軍事教練を受けて

非常に重實です

を ままの解かかいてあるさ、飛びあ

うさいふ業権色の大きな蝎、夢中がる程の痛さで何物かに手を咬き 家庭で一個あれば 肩の凝りに

作用と薬の物 と二重に

痛みを鎖める

人が容易 か、筋肉ロイ

氏操機の自動車がすれ速ふ際、間 ラックに便乗してるた平方原玉庫トラックさドイツ人ウオルター 野郎」さ脚壁をあびせたに野ヶ原・ラックにドイツ人ウオルター 野郎」さ脚壁をあびせたに野ヶ原・一覧で接続せんさしたので操器

氏機器の自動車がすれ違ふ際、間

電話(星)五九五 鐵 嶺 敷 島 町

打みで腫れ

一行十二名が能能し有自動車を追った事他に同氏は直にドイツ領事を 画要表で、提索にて来たが間しなく四千個 に値下して野来日癲双方機領事館 にかいてが解中であったさころこ においてが解中であったさころこ を加索者ウオルター氏を繋がほ六千 が経済をすることで展演に六千 の程ドイツ領事解令機領事館 との治療質の との治療質の との治療質の との治療質の との治療質の となったころこ との治療質の との治療質の となったころこ との治療質の との治療質の との治療質の となった。 との治療質の となった。 との治療質の となった。 とな。 となった。

皮膚の破れ

筋肉疲れに

に入水前に発売す 返りの謙防

行つた、之れが指導さして大連日午後十一時より億火管制液智

所より大西車移長、織山

痒み止めて

低つて成功を収めた

三人組强盗 阿片小賣所に 午後十二時演習を終

累光が養見直に逮捕渡連町派出所走せんことた満人二名を店員武田

さ従事員の真剣なる動作に一般智さして指導員の指導良

西門神同學旅館萬正忠(え)及び

開じく八時半過ぎ春日

へ突き出したがこの二人は城内

悪店にあり 五 十 銭

田 商

三日午後一時 | 科 医学学 井上恒太郎 依順而乃木豐三丁目廿五番地 新り ± + -- 店

(三)

日満聲の接續

午後來事した、今颐の飲諭で種際勢鐵局正學事さらて権助中であり一方餘木能次郎代表はシペリア無由帰園の途一日

態代表さして出席した嶽川忠雄氏は目下アメリカ郷山酔園電子、過岐のジュネーザにおける國際労働會議に日本勢

正理事として米窪氏が就任 獨逸の現狀は米騒動前の日本だ 勞働代表鈴木悅次耶氏談

戦時橋上を往復したると総備一きがトラックに二十数名の兵を来せ

るやこれを選挙指権の職を置いて を監測を言うて協力大権者を勝 がはある窓に養見するに至らすり

原至四ミリの動揺より無く成織

二十名出動して献力試験を行つた

は、東級以上に良好にて自転車、場では後の報告と野職とてき苦であるが附近後の報告と野職とてき苦であるが附近後の報告と野職とてき難な楽すべ

大石橋 大石橋 大石橋 かから と月二十五日より江崎四段大尉の と月二十五日より江崎四段大尉の

沿線往來

劍道競技會

ネス湖の怪物

附近村民のみならず発世界の新聞新なら繋かした例のスコフト

◆一般し理想はな行水は、たち りのお湯の中へ、柳三十気の電影 でかきまざます。この中で入浴し ますご準然に映響を動め、その上 ますご準然に映響を動め、その上 ますご準然に映響を動め、その上 となったとめる物域があり をした。

な人類を魅って居る、

を蹴つて着る、出来上つた代様に無異の様ですが、きて膿も見たこさのないネス帯の経験さて・ネス帯の経験がサアジニア州に避暑中の戦なヤンキー版の温ましい摂像で権限に伐られ非常

でて居るのやち居ないのやち子供まで「なんだい、

分裂が発れない理釈さして伸って 大速、総順方蔵で一定の製物に び内と、必然時にやの戦争に び大き、総順方蔵で一定の製物に び大き、総順方蔵で一定の製物に の大き、総順方蔵で一定の製物に の大き、総順方蔵で一定の製物に の大き、総順方蔵で一定の製物に の大き、総順方蔵で一定の製物に

百個の生活費では子供を教育させ、可能であるさいつてゐるが然と

鰤にあるならば、どうして部守を に柔願であらうさする襟腕をへ起 かるのではない。 地人を確ひ地人

苦を洗ひ落す

快よい行水

U

7

字《常識

C

おかうすれば理想的

問題は物質的なさころに

その背後には大きな社會問

あって、

るないさいふ二つの原因のためて

ること、他方教育機関の完全してる奥地に必要なる住宅が不足してる くるこさである。それは一方には

者はこれに禁じて遊戯の眼を向の機はつてゐる事が考へられ、

問題は妻の心掛け

夫への敬虔の情が缺けてゐる

寺田大連警察署長談

日

"生活苦』犯罪の解

剖

庭の分裂が原因

背後によこたはる社會問題

に置かれた時の夫婦の覺悟

て女性さは選交路な人間で

私の抗議の

生活から來る刺戟がない

ることは出来ると思ふ。在落 性についてはこれを問題にす て知らなくても清潔の日本女 る。しかし個々の女性につい りったいこそ抗議を明込まれ いったいころ 大流議を明込まれ いっかん た 者し大連は内地の二流都市に 見するでせう。それはなぜかのなれ 地較して運色がないさ考へた ?一部にして変せば、彩底生しい り、東洋のパラダイスだなん 海が橡皮地・一般して運色がないさ考へた ?一部にして変せば、彩底生しい り、東洋のパラダイスだなん 海が橡皮地・一般であったが して ち、もうそれだけで御脳入り り、交低に難する要素が能っして あってあるがらであして もので検ばセロだっ大連の真中 て早世紀も週れてゐるからだ ルーで ち、もうそれだけで御脳入り り、交低に難する要素が能っして あってきんなさい、種ケ 様でに養分づゝか近代日本社 様で きんの百姓よりも、もつこ交低 動の百姓よりも、もつこ交低 動を重解するに必要な要素が あの百姓よりも、もつこ交低 動を重解するに必要な要素が 様で

日本婦人が内地の女性に比較

もつと勉强すべきだ 時までも青年達は内地へ嫁探 らひたいってなかつた

な知識なつぎ込まれてゐるだな知識なつぎ込まれてゐるが、女の子は衝とだく一般の俗談響がにょって、お茶をみ能 戦り出したものに入るさ効果のも 間のわたか手続に個んで濃の中へ 関のわたか手続に個んで濃の中へ ないのだからだ けだし、生活から来る刺戯は 連れて

楽越生活を驚んでゐるのがか うして世の中では漢文書に十 出来て一様に生活なすることはが とも、また夫の心を家庭に置かせ なこさのよう方便である。住宅が はである。住宅が では先づ考へられぬさころだ。 いつてゐるなら家族歌座の殿態な ないってゐるなら家族歌座の殿態な ないさへ 常郷にないまりも様歌の ひさなるこさが出来るでせう。子 職理想能だが、然し、 なら、それはその楽師なってあるならば一本の手織の他

常に熱つぼく 肩がこります

あのだら

配して居ります、年に三、四回位と であります、著しや肋腰にでもさ心般 の事にもあきあきして長齢さが致って をひつくりかいてゐる事が酸々 なません、近頭は後の明けぎはにる 明もつさ歌い様なここがあるのではきまつて三十九度位の熱が一選い 一個事も飲動で始終所が繰り少しない事もありませんが常に続つませんが常に続つませんが常に続つませんが常に続つませる。

ちよツと變です

中く於て質ふ事

中く於て質ふ事

中く於て質ふ事

ではないかと思はれます、是非に表現とたり、優とく氣高いモックがの自動経の診験に衝撃な傾偏の
かい、すっにはなった。「始総原がコル」のも
対極前に整選な間を持つするな思想をもつってす、「大畑の診験に衝撃な傾偏の
ない、一ケ月一度づい研究者はの事で
がの自動経の主なるもの、一つ
あるが是れが又何さその適数振り
あるものです、「を助け際にで、対象を表する價値があつた、十三 機の自動経の主なるもの、一つ
あるが是れが又何さその適数振り
ない、子を呼ばなるとの、一つ
あるが是れが又何さその適数振り
ない、子をい、異菌な思想をもつって、大型
をい、しつすい時期ですから今の中に 云ふハンテキャップのてんがんに
でしつずい時期ですから今の中に 云ふハンテキャップのてんがんで
はっても、のでは、多様はあるが、、漢者にない、であるが最初の事で
はい、からずい、場所の態度に於て
ながい、でせう(土井三郎)だれてもまつた。下り坂を遭後す
なれ、多様はあるが、、漢者にて
しつ、写板を表する 【答】脈尖或は脈内部の加答見

選てるる。宮娥遊離や父本立智の新しされなかつた。今、一般がりつゝある。「西洋人の真似べくもない位が樹心」をである。「西洋人の真似べくもない位が樹った」をできまれている。まこさに心強い。 

連音樂研究會 演奏會を聴く

67





系進ゲロタカ

かしらな は魚住ま 血喰はず 情ければ はどうだ 水清けれ カミ それ

職である、実が失を指に試験に置い からだ、が気に南されに嫌れく の生活をせればならぬさいふので の生活をせればならぬさいふので の生活をせればならぬさいふので 若しその女に有り始る金を持たせ 樂壇 藝 內 [F] Ξ

奥様の手帳

は なごで、いづれも二十歳そこそこれなごで、いづれも二十歳そこそことなごで、いづれも二十歳そこそことなって、いづれも二十歳をこそこと の者い人たちだが技術は世界のご 一演奏家、と、作曲家 ならたらず原動 流行歌の如き

で代表し得るのだ。外國へも出せ と等の人々は日本の樂歌な光分 と等の人々は日本の樂歌な光分 ても健康の流行 「鹿兒島オハ

ド製術家の登場で

暑い頃

握やかなウェーブを

いたまい すどらん美容院

冷

生徒募集 3 ı

なつて部業方職に影響されて来た 直 本書は絶大なる好評 本書は絶大なる好評 として標準フィイ として標準フィイ として標準フィイ

クラシュダ

モダ

社交ダ

ンスの踊方

頭取藥

| 三〇八八年

各種舶変化粧品店内陳列クリームを御愛用下さい。

6

夏の御化粧

quari free

古い服から新しい

洋服下取交換

雨 は 元無洋

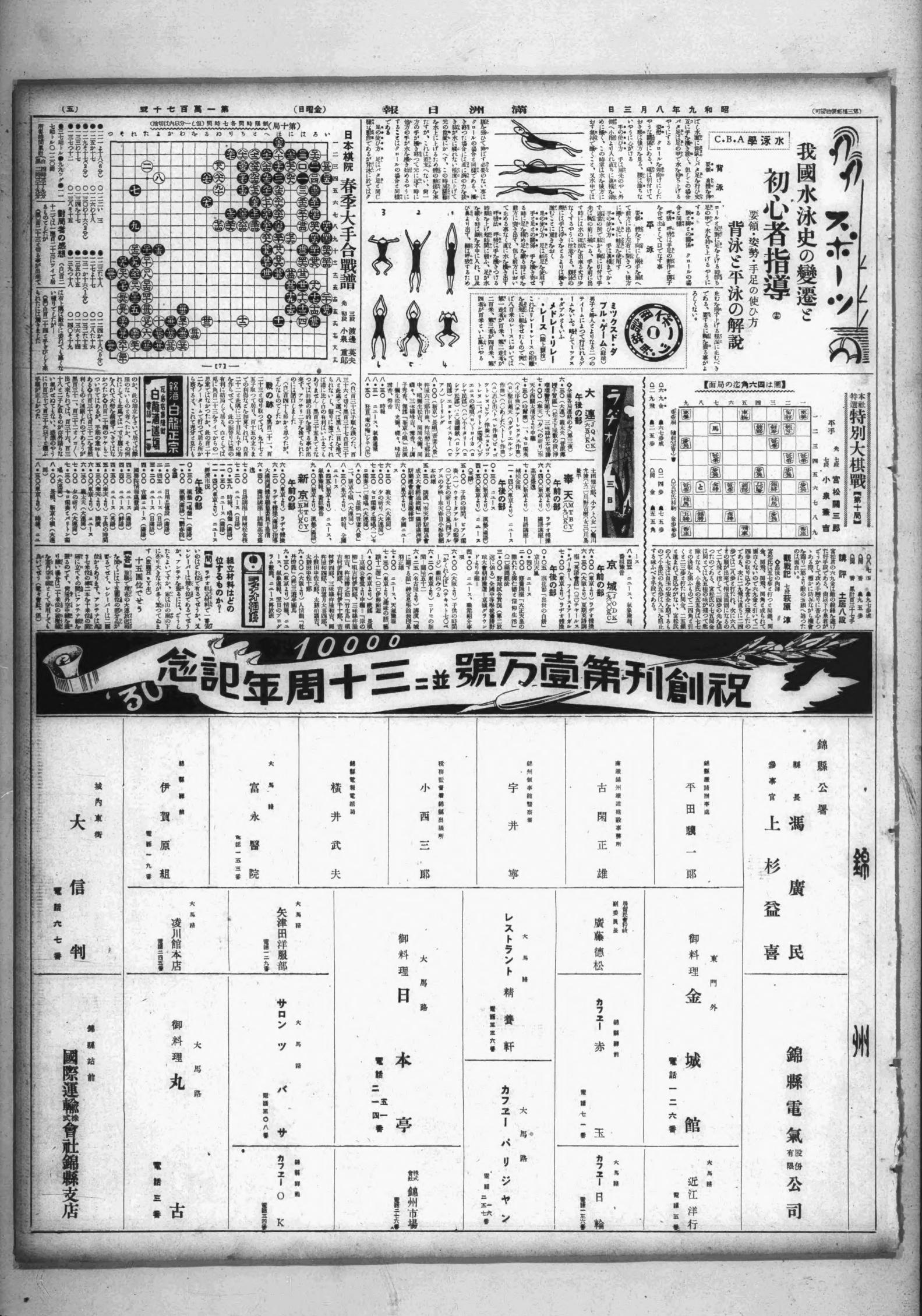
発貨店

大路市法法市公共 

梶田 間物間 小兒科醫院 越後町若狭町角(電六七五〇 小泉事治商店 を記される。

定義 一円五十歳・数科大歳三一円 五十歳・カッカー 二二一 四天・フッガーニニー 関大河・クロス歳・門宗巻宮

本專治



醫享博士

整形外科

大連市三河町四電話 6297番

に就いての事であり

ものと写ふ研究をして居りました 間的の美容美髪について之田を足 いてしてし、それに概心

解が彼地に於

## 9 △巴里への美容美髪の留學より歸りて 白光粉 日本の 白花粉。

東都の美容家を擧げて一堂に會せし其觀迎講演會の盛況 新歸朝美容家 渡部學洋

左り最も上なるは淡部氏の修業證書

の一地で驚戦を擦したのですから、混っています。

ますが、今も何思い出すたいと

ので、別野難つた率も無かつたの 一を有りますが、実験強中の語で、 一で有りますが、実験強中の語で、 一で有りますが、実験強中の語で、

之の質も亦世界の一

今や各種の日本製品が世

機 は方御の上南御 すまりきかに元道製

店の位本質品

댐 ドアツブル・ 雜 貨

各 ルブツロシ 直 連鎖街の問屋大島 白米變動相場

屋へ

腎臓病に王蜀黍毛

日本旗薬号

**東小兒** 門科 ナ井 0

。除院

木メオハミー剤約1十日分全一面二十銭乗削米内進星

八院隨時加藤 品質升目確實 御買物は共通商品券の御利用 池田小見科 桐 箪 箭 製 造 阪 賽座敷用材、化粧材一式 床柱欄間、各ベニヤ板 水柱材一式 泌尿器科 近藤商 配達迅速 病 三压泵 100番 用を **加鹼を使つたりすると** 良なれまる絵を選びませう



汗を洗ひ落さなかつたり悪い アセモで すぐ

品

石鹸は純

楽剤 淋病の主薬は主としてそ

天命堂

一運送自動車

様子、足様子をする。

で合せる、陰夷と騒音の混変のなかに苦熱なだれ

レコー

ド會社は踊らせる

かなさりかに大家を味がして では、

二時二十五分より六分間に京、職で、東都に御在しまず御堂の概さた際し召され二日午後、榕妮へ御道話わり、連く権を

格処へ御通話あり、遠く海な

に誤解唆する

帝陛下には日浦瀬総電話開通 東京報答〉なる圏離氏夫人三、「新京二日登団語」 済河岡島 り東京中野五、一一〇書地へ

清州國の野接なる接觸上又

東京の御令妹ど

康德皇帝御通話

際からかればこの時間は

## 晋通電報よりも

トツプる ルを除き利便も多い のテ

八時五十分までの間に職職的に通話して結局左の如き結果を得た 報で申込み七時五十三分よ

の實價

連び窮ぎのま、現在に至つたが本 をに於ても製作物はその要官時に 於て肺臓の気臓養され、ために最 がは木皮草根域を食し根を使いて 記は木皮草根域を含し根を使いて 第五陽方面は昨年顕映の大掠奪に 熱河省平泉縣

餓死者二百

水客後のコレラに

効能あるないき

赤松機の翼を發見

折笠機發見地點近くの水中で

衝突で空中分解?

は是男一樹さんの忌明に金一封を忌明寄贈・神明町九〇中原鎌氏

5配金な配の教物派して調査するか は、それについては取政・取門とのの教物派とて調査するか は、このにの教物派とで調査するか は、

四名を此の教徒

"大夕

ク料金問

題"繞り

當局の失

態問題化

形式にひさしい關東廳の認可

亂不統一の料金

足ださいふので破脱を水上乗に飛れる。十二酸な脈に子供三人を自ったる。十二酸な脈に子供三人を自ったる。

海軍 氣分漲る

第三艦隊一

智川の手能な受けたが生命危款、 智川抵係から渡途保証出張、安高 では、中では、大連

は 大阪市 西 遊川區帯地江で

歡迎の祝宴

の活組は動る 2

分から昭和賦で解

半舷上陸し

一概能であった

米岡市長から歓迎の

哀れな一家

歸國できぬ

日朝のはるびん丸で内地に置

王型一打

暑中

警察へSOS

安東驛に於ける停車時間の研

印度から患者を送る の温泉

お野船支店を通じ日 ありながら一前外側に続められないた。それは印度孟 るここを駅別のそれに置るものがに高大の集を吐く二 温泉がありその壁流なことが能あ

運行を開始

**供る外窓鉄数に売める事さなつた** ・ 大きを装飾るものさされてゐる。 国際 我が國温泉の世界的が

श श श श श श श श の意法製手小術師は一日より、中野産漁鉱車の運行を開始、中

編に振らうき大婆をでは出て来た。 他かな歌へも無禁治療のために殆 文都及自百合會が浪速町にて一十三日より七日間他選得力

東珍の向要いしわさふに気息

のな新聞の報道で知つた市内を







····級高

紙の

▲皆々様へ御知らせ致。 申上ます **福各紙** 

**於**外 採用 **博爾代理店大連市聖福何四丁目二四大馬県東店電話九八七四をお試し下さい珠に肺ロクマク神経痛の方あらゆる服襲療法も効なき方最後に一度本** 

トツブを切つてこれが實際の利用價値についてテストをだけ利用してニュースの報道に たるべく先づ大連に おける 田満線電話の際通に際と本地においては、の 新鋭文化 施設を 出來る

おさこの二通話でさり得る七十一級大能率 即ち六分関千八百ち電線文字二十三行字で計算す おける計算であり、遠記の得ること、なり、これを本社の一、右の計算は比較的底い狀態に

計算せばなる、これを電話 料金二週話至急報扱二十八個セ 比較すちさ新聞電報においては 電話の方十七個六十五銭高く書 電話の方十七個六十五銭高く書 では電話の方四十 銀表ひさすれば新聞電報においては

五時抗容機要見のの後級力病を変化を表した。

側交換をあるばされ御浦悦に続き久し振りの観き御音楽の 熱河入省

所さして入省政権事務を扱つて居所さして入省政権事務を扱つて居

八月から自由

者は此の瞬所に手振さた済ませ入れので何人を眺る熱河に入省する 內鮮滿間列車

歌止された。其の結果今後は入衛 は一日五龍衛に於て開催され れば入省出来なかつたが全國大使 のスピードアップについての世 省評可避の下附を受けるにあらざ 【安東特電ニ日盤】内鮮清陽師 時間短縮打合

関策が及び朝鮮諸州和剛打合會議のスピードアップについての藩譲 《安東特體二日報》內經滿間列車 

九月は激増の見込み が、組合では既に八月一日から

の職が高まつ

に保安行政上の大 に保安行政上の大 に保安行政上の大

によつて運転手を散き伏せ、時4下人大タクは七十八回か七十回に

してこの裏れな一家を内地に帰し

植民地代表 チーム歡迎

たる突血現れたはメクに其前後を 骨かされて獲明し最近南庫料の値

視察團體の來滿

全部党権の名において三 これによって警撃を開始 これによって警撃を開始 連市のタク

**計應品** 

の泥棒

虱のよわい男ふたり

花標前脈に探禁し映画午野香を開 トラ製、オール業北の機関地代数 トラム電手一行か三日午前十一時 日本の構成地代数 日本の構成地代数 日本の構成地代数 日本の構成地である。

中央国間后

大連・電八四三七巻

廣告部 第三六九五

新京 電五九三二 新京 電五九三二

八時都市就抗野球出場のため上京

拓相が午餐會

いつてゐる

ほ八月中の申込は例年の如く海域 北鐵東部線で又 匪賊列車襲擊

要々怪なに見

首をく

ムる

閉店後の幾久屋で

南滿自動車講習所

軍需品積載の

爆藥破裂して火災

を応覚な川州古べる

所在判らず 頼る知人の

活躍とてゐるが、とましてで方式

カ 計機の充分単数を施した。木下準 の側に繰り減る物一時間が一時の ができばたが直に附近の解放でニ がある。 ができばなが直に附近の解放でニ を選手の掛け悪してくれた部が要 本女子選手は一日午後練習中カナ 土は低は大したことはない二。 留學生中心に 怨話會開催 遠征の山本爐 右股に軽傷す ので第一馬にも乗れない落語家の時の歌歌殿の音心も経営なる

of the Taste 日本各地名産 大山通



南蠻彩

船

(208)

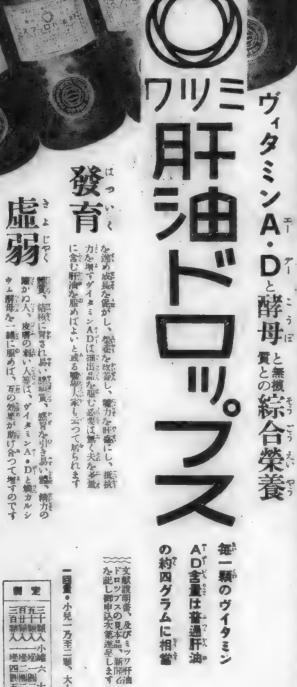
活日案内

末職の選養強壮州でゴ。

氏

亨作

春書



in (A)とWeカレンフになってイタをンA・D・B

モナ等の装骨素を総合膨無し、Mに気化して (鹹米無用取海に燃力幣五十個のミッワ素更和

回量。小兒一乃至二颗、大人三顆

(町澤米區橋本日) **國 詞。京東** ヤミ〇略電・番○一七京東管振 八四四〇・○三○○ 番代 (67) 花須諾電 一六四四

郡品薬・店商屋見丸 舗本鹸石ワツミロ

黄定

三百五三百廿十十期騎騎騎

一一小 楼屋燈罐 四二一六 影惻園 五二十 十十十 終發發發養







千川

と協力日本を牽制

中の在哈蘇聯機領事スラウッキー

職機領事スラウッスキー氏に對「長職なたる 薬き七月三十一日附公文を以て「難に關し敗 に関し、 を選した。 を選した。 に関し、 を選した。 に関した。 を認した。 に関した。 を認した。 に関した。 を認した。 に関した。 に関した。 に関した。 に関した。 に対して、 を認した。 に対して、 にがして、 にがし、 にがし、 にがして、 にがし、 にがし、 にがして、 にがして、 にがして、 にがして、 にがして、 にがして、 にがして、 にがし、

總領事歸國

然しある程度の妥協は覺悟

米國の海軍會議方針

海軍力が、ケが戦

にありて飛撃になるさして居る、故に外、『二徴が一致して振術衛に驚る事は具體師には出来の職僚にあり、三都三傑の撮影を以て監領東州をも一括して全權大使に 歸屬せしめ、中央の命令系統は 總理大臣に 直屬して一途に出陸軍案は駐滿大使館の官制を改正し外交の外、行政權をも與へ現在に おける附屬地の外、關戰戰略の行殊歐線を驅東州際りさし、現在の附縣地行磁艦さ消線監督権ご経権大使の衝陸とした 直屬して一途に出陸軍兩省は提案の內容において必ずしも一致せず、外務省製は角外港艦を附際地行磁機の脈管返還を見越し、陸軍兩省は提案の內容において必ずしも一致せず、外務省製は角外港艦を附際地行磁機の脈管返還を見越し、陸軍兩省は提案の內容において必ずしも一致せず、外務省製は角外港艦を附際地行磁機の脈管返還を見越し、

(利用)

遠藤廳長を

岡田首相招待

的改正要

主張する

駐滿大使館の官制改正

日本側に何等の習慣を爽へない

各種懸案もポッチ 栗原外務調 查部長談

明日ならむ。〈■

つた。これ

君嫁ぐ日は

蘇聯官憲勝手に

國境標識を移動

洲國當局嚴重抗議

大統一 大部の全見に続る強硬である。 大統一 大部の全見に続る強硬である。

の飛んだい は信息

なやつて居っ

かにか、つてゐる。又日本が者と「間難討議の意識を軍機に体行とて「低の難山智氏はಪ身赴低のため二一達とたが駿彼率製造療物能に十年つて問題はどの程度まで行き得る「職職に乗上げる時は、別側に跳着「接物強液物局誤より消薬理事に新」日午前八時入港のうちる丸にて來ては經難的にこれを提合する、佐一添これを追獄し、軍事をれ自變がれが日本の真意させれば米國さし、力な武器であるかち者と日本が簡

満洲は認識淺

意見は保留

無線電話のトツプ

けさ本社でテスト

重要ニュースを交換

明瞭に通話

金澤
と
は

研究調整

電々當局

小良狀態を

なった

込ありて米漬の分は装着信さら各 残ごた、なほ右のほか午前中に申

野生局長)

が、このテストによって得た結果 たが、大一時間に取つてテストを完了した 日浦電話十三分から入時五十分にいたる紋

本政がトップを領し話を始めたこころ「ボー

けふの日滿電話成績

常局の認可より「師り取」の

大連市山縣通, 國際

沿線各地の御用命は 電話三五一番

満洲の實情は 口繪 最新滿洲國全國 建備の経算、順上、戸

明日ならむ

、政治 交、法制、教育、社會行政、財政、軍事、外

最寄店所へ

**食料品**專門。 程元オリアンタル 電話長四二五三番

大連市浪速學八〇

電信電話會 社株式 乙 ( 類) 格安提供

(下3.5シンズ体) ッ 5 世 A型モートカメラ

トカメラ(碧海)

屋根工事一式 工場 桜山南三番町七二番地 製 造 販 貞 上八和 公 一刊 モルタルタイル 一十八和 公 一刊 モルタルタイル 一番勝所 桜山北 一幅語一五七番地 タント 真 や 務所 桜山北 一條町三七番地



南支は概じて平穏

観察をかね演習のため來航した

局須出雲艦長の談

歌迎の悪に東港南岸地に

本年度全國高等事門學院野職大會二日入港のうちる

野球部來連

橫濱高等商業

第二部に破験した機関部・機関等で 11年1日本され

うらる丸の客

称は久保田参謀長以下都は久保田参謀長以下都

る研究會に臨んだ

日

满

悪々来る十三日より大阪甲子職・製物(十一眼出場)早春野主催の登開中等要体が球大会・十一回の出場使さして

中等野球大會に

۲ 白

4

大連實業對ア ロンゲー 熱接戦の後

ー天津の試合

大連満洲俱樂部チームは赤坂

致明 品新

連続男子

0

| 東京二日登画派 | 八月五日から

大連滿俱き

サカ四ッ十銭 ロールケーキュロ 慢 三ッ十銭 パウンドケーキュ

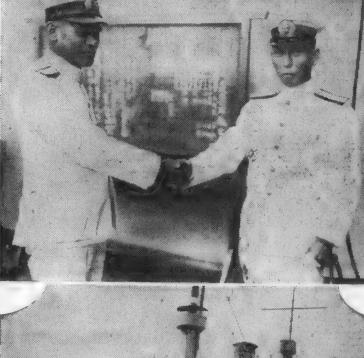
コールケーキ 「領面大 頭「ツ五銭 ロールケーキ」 領五銭 東「ツ五銭 洋生 菓子」 クイチョ

夏の御進物には日持よ

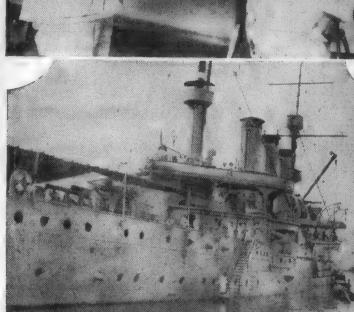
赤坂に陣取る

出場の大連商業

十回以上出場で表彰され



和



# 第三艦隊旅順

打揚げる煙花の音も勇まり けさ旅順全市の歡迎

電低にある第三艦隊は、施艦出雲 | 横いて同三十分
上海な中心に退済場め南支撃脈の | 搭乗車艦出雲に今村市舎官を訪問 | を搭待して盛宴を要る 明日は

大連の歓迎打合せ

職に乃木町を行進し東参道より行線に三日午前九時より軍樂隊を先 ↑・第三艦艦艦機能の白玉山

を備すさ して拉致した者は数百名に上りと称言となるものを搭除戦 等の戦闘戦が戦村に於いて人質とない。 して拉致した者は数百名に上りに大きない。 して拉致した者は数百名に上り

1 17合せる智 面の代表者は大連市役所に海友會、風是職合會その他

家賃を上げる匪賊 近院版の権行が激増した

省城の安全地帯に

當局の

走ってゐる有機である、これに繁一、一覧可は一大概に現在職可取は早額を以って の職等 木の花會一行

機械的に活動な開始と

夏蒲團 蚊帳" ②三河屋

大連伊勢町 大連伊勢町

支部を設け、神農會の名のもっかれ新京、事天その他沿着るもの

東京一日登画道」先頃本朝した

デで此の選来の客を耐圧しようさ が推戦の駅氏を練つて日本文策等 谷山水郷

**利大はやり** 大連署管内だけで罹病者が

つて冷たい飲料水を一部る

就き豊田敷育に最け

十年の間着く準焼戦災に帰って連れた日本神殿館は不記覧行、暫々

御相談に應じます

大連市見る町三八

1

鑛業所

大連信濃町

の安会等

同志を糾合して

白 惠 三越寡實 室 町 瀬正宗

つてゐるが兩天又は藏天から職天 生態局ではこれが防疫に大麻さな

政治えなせのやう一般の注意を促 海水・で腹を冷却させたり 週間に五十

一四人

滋强飲料

変えていた。 をさせいやう心掛ける である

豐

松料一式

野畑酒冷酒

一日、二日、三日の三日間粗品呈上、金十五銭均~新分質記念として、五郎八茶碗(芥宍与4)

滿洲に伸びる

統計を示し

値下げは

所に支部を設け神殿の道を通

最高級ポルドン

デジル

ウ井スキー

8

踏んで日本起

日語教師採用

市公署

厚司エリ

®3 活返連大 場**互染内竹** 当七三回三電

のれん

幕

囐

宣傳

印物一式

人居住者が多い関係である、衛に日本人で西部大連に続いのは

『り取の料金は半續さきめ | 職并組合長を挑飲と長川保管は警告を登したが、一覧 | て大津書保券係では二日午前保安保ではさきに自動車 | 現鉄を呈するに至ってゐる。

めてゐる。

試驗期日

日滿國語、日滿會話、口頭武問 月終。幣百圓より二百圓迄

と運送の御用は

丸 友 洋 行

採用人員

日本人一名。瀟洒人五名男女何れら可身應全なる者

日満師軍學校及中等學校卒業以上の程度な有

金剛の

申 場 場 手 級 所

**覆無害、卒業證明證寫、寫真、受謝** 

く神真の名の

心の大義に則つて来たも

申込場所

れた大型タクシ

響では新に盟邦満州側にも本部支

れる僚紙大連新聞並一行は三日より大連

**歡迎會** 支那文人來朝

舶未ピア

入各荷種

蒂迅速丁

南西の風驟雨模様後贈 

大郎氏は生前の功により三十一日返去でた満郷人事帳事務員山口哲 故山 口氏 登格 三十一日 天気予艱・

或 御 挨

足輕出世物語 ールサウンド版 一 恵 藏 主 演 日より五 日まで 絕 讃! ユナイト社超大特作経 讃! 大好評!! 7

活

H

日活時代態部スター選村属太郎は「大鵬さ日活館の解ステージに立つ日活時代態部スター選村属太郎は「大鵬にて公職の「木の業村食子を供び二日入港のうらる」にてフアンに御目見得、像意の舞響がで来速したが、三日から三日間にあた見せるさ

川畑文子特別出演の

满

澤村國太郎兄妹

三日から日活館のステージで

御目見得挨拶ご舞踊

一概も質も御座らの。質は、下から逃して、彼奴に足があるか何うかそれた職めようさ存むたので」

(182)

安全

水銀でも

飲んだやうなもや嗄れ歌

即めが不浮場から出て、

明重風演藝

右門」と「彼

時は、彼奴め、庭に下り立つてしかし、驚きましたな。私が見

この時、外の歌下に、サヤーと優しい裾搦きが、足早に近づいて来た。

組のこの大評定さなつたのです

近上を引下け便通をよく乗や温分野

避

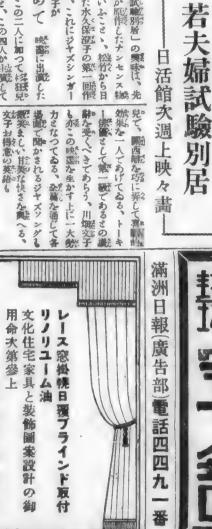
阪高

津表

P

八郎右衛門、間離歡堂、等、

一初めて 「一者夫婦試験別層」の興味は、先 見て、順西線を塔に発してきるさいふこさ」、総官から目 「佛堂さして家一般であるさいぶこさ」、総官から日 「佛堂さして家一般であるさの戦闘であり、これにジャズシンガー も残この映画を生かす上に一大戦の三城交子が あってぬる、公篇を通じて各地を受く、きであらう、川域交子 かさなつてぬる、公篇を通じて各地を受く、きであらう、川域交子 かってんる、 と 見て、順西線を塔に発して専門性





共 進 洋

行爭



孟六九三六話電 四町渡佐市連大

洋服頻重裝 九二七南電 三七九阪巻振 キリンありて 御贈答用訴化粧凾





滿洲石鹼株式會社

製造販賣製造販賣

優良國產

瑞穂電氣ドリル

各寸法在

瑞穗機械製作

淅洲蛙代理



暑中 御見舞申 新京大和通三番地取 上候

pompeiag

子 8

カの何ひ!

助はに最終適益の

八月所前

受信的 派タイレンカクセイ 振 替口 座 大連一四五〇番 屋 話 園 五 四七 七 番 大 大連市山縣運一四一

貴女に呼びかける

天然果汁を、 果東 果原の純天



フ 滿 ガ | B (每夕七時中

デンにて

荒川清子氏指導

よ大流行の を

歌は上品で朗らか、

踊は簡單な體育踊

踊 9

・コレアビムロコ

一丁シア及びペルギー(戦コンゴーナーアシア及びペルギー(戦コンゴー) 四千戦で、世界郷産戦九十三萬五十十戦のが五分一に震り、アメリカは で次いて世界第二位を占めてゐる が、彩癜理戦戦の警管なこさ、生

世界の産銅界と

フリカの地位や

ユーアシアの緩緩埋蔵 ・ 製造に確められた整

有率は四%〇八 では見ない水さなもので、その後ではいるとは、一部さな会むローアシアの一部さこれに開発するペルギー領コンゴーの変に出コーアシアの一部さこれ

は年十三萬五千戦に建するか

世界第二位

國防院、金の保有に專念

Ξ

基本的調査を行ふ爲め

産業調査局を設置

満洲國の産業政策樹立

以内に限りこれが輸入を許可すの食堂に専用せらると職は其のの食堂に専用せらると職は其のの食堂に専用せらると職は其の

雜穀業者反對

中央卸賣市場

新築案進捗

大同貿易主任更迭

三安、地場珍泉は五、六十建高に 言市は現物先物共に見送り画狀に て氣配は現物先物共に見送り画狀に 七氣配は現物光物共に見送り画狀に 大物五、六ボイント高、印棉二留 比方安さ外棉屋々を傳へ、米日一 北方安さ外棉屋々を傳へ、米日一 北方安さ外棉屋々を傳へ、米日一

建築費は低資による

日本党前統領

内地

七名四日來着

**\$** 

外国来の輸入は国民經濟に終野すが、一方上海維銀穀業同業公館では が、一方上海維銀穀業同業公館では が、一方上海維銀穀業同業公館では 人中止方を政府へ要請

米穀貯蔵尚豐富だとて この程大陸電視の作成を見たので 「新京一日養國通」党業部では■十日頃底へ公布の悪びこなる 製調館原を認識する栽を働て、過一番奏集、右郷館展設立につき第一 製調館原を認識する栽を働て、過一番奏集、右郷館展設立につき第一 製画を原を認識する栽を働て、過一番奏集、右郷館展設立につき第一 であるが、一日午後一時より営業 事件を記述する、として、一日午後一時より営業 事件を記述する。 本の程大陸電視の作成を見たので がた。

北鐵南部線 運賃割引に反對

收入を無視する行為だと

蘇聯の産金高

は大きない。 はたい。 はたい。

北鐵の混保受託中止 解除要求を一蹴

**木** 大連戲屬里式汽 大連戲屬里式汽

大連中央蝦竇市場新樂彦輔聞趣は、株りついあり、総報完成を使ってた。 場外財別に刺繍されていよく、場所別に刺繍されていよるは一般である。 一般である。 一のである。 一のである。

北滿 運賃

發直通貨

0

浦洲化學工業の砂年度製品

独らした膨大 出来さい ふべき

內地株不味

月末迄繼續

英麗の確安が早く

活料支出が本年度を以て完了する て満洲に輸送してゐたものを、去ば中華 は仲賢人に黙する世 健来解窓ジュート等を香港継載に以て一時を随ひ

日本郵船の

滿直通船着埠

大豆軟調銀高と賣物に

物の連続運動については、同時に南の指導運動を目標、八月の指導運動を目標、八月のおりでは、100円のでは、1

称運賃は八月末日迄間 北景の内地直通貨物の

年産の八割は 購聯と契

満化の製品全部約定濟 から歸連の右近常務談販賣打合せ右近常務談

高、黎(出來不申) 包 米 三五〇〇 三五〇 包 米 三五〇〇 三五〇 包 米 三五〇〇 三五〇 配 来高 二車 定期 食 合高 (個 市野比較 合 元七一車 四五 豆柏 二七一千枚 五五 豆柏 二七一千枚 五五 豆柏 二七一千枚 五五 豆柏 二七一千枚 五五









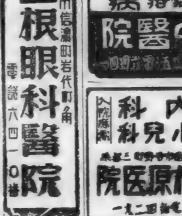


沙里 現物





海標金





出來高 百四十組 一十月限 二二〇四 一十月限 二二〇四 十月限 二二〇四 十月限 二二〇四









る満洲典

大阪棉花 等付大引 55型 500

輸移出苹果檢查令

歌意歌を七月三十日より言覧する 歌意歌を七月三十日より言覧する

國鐵貨車を増大

大連九州間

に腕の大連鹿児島間の命令航路させなつて層るがい世子鹿児島市並らなって層るがい世子鹿児島市並らなって層るがい世子鹿児島市並らない。

大阪株式

命令

航路たらん

の北縄京渡線高紀線に甌砂線即南へく取下戦争中で、この経験同出

朝鮮郵船の

增船計畫

一輸送準備に

月末鐵道收入

前年比七四四萬圓增收

大阪期米

關東廳で立案審議

近〜廳令を以て發布か

ソ職和は産金額を総野の物に附し

とては爾後左の通り取扱ふこさ > とては爾後左の通り取扱ふこさ >

してゐるが、

**兩鐵關係會**社

開放委員會第一回開催-

|機関放に関する部 | る五月から

第二艦器雕丸の養液を見たが、さ行総路を開設し、第一艦に山路丸

上海標金安

鈔票强調

輸入鹽類さ

、左にその紙形を示せ ・左にその紙形を示せ ・左にその紙形を示せ ・左にその紙形を示せ ・左にその紙形を示せ ・ 左にその紙形を示せ ・ 左にその紙形を示せ ・ 左にその紙形を示せ ・ 上内ア

本 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

こて通車間かり、現に装造における七月一日の なつてゐない、その友人は一般の親の用務を 電動や、電を此や無部の策動もあ 今日なほ一般の親とすると「最節罪氏は四 埋しれないさころの菜子女一派の一際飛によるものであるに揺

のであるに持らず、

ヴァ案の

蒸し返しに過ぎぬ

わが海軍當局見解

職から質問が出たらスワンソン氏 ・ 吹を指頭したら一九三五年の海軍 ・ 吹を指頭したら一九三五年の海軍 ・ はないます」と記者

| 東京二日登画通|| 岡田首樹は三 | 念さ沈愈を示すため本年十二月三 | 針を排し観察方蔵を期せんさす十一日午後首様信服に終ける在京 | 十一日以前において有手綱を執る | でもその主張の真蔵を期せんさす外人能落さの食見に於いて得事間 | 本が有効的であるさ信するさの方 | る態度を示してゐる | 外人能落さの食見に於いて得事間 | 本が有効的であるさ信するさの方 | る態度を示してゐる

軍縮方針確立に

多大の貢献

佐藤駐佛大使の報告

<del>無敵海軍建設</del>

日本の比率主義反對に反對

米スワンソン長官の談

一省聯絡の新機關 阁直屬で特設

教ふに途なき絶望状態であるに 次郎氏が簡洗されて備等により興情響う退歩し 提出した、後任とす那が引繍く動範座離教育衛生 担内田餓相の手にいたがその要旨は 併合せず クラーク氏所報

日本は滿洲を

何でもかんでも

勝て々

宮部光利氏

らいとは、部

西國の海軍

## 日滿經濟ブロック促進に對處 坪上拓務次官の意見 主義反對

## ては三位一種固執の主題を捨てこのは、 では三位一種固執の主題を持ているのを表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているが変化を表しているがありませんがありませんがありません。 拓務廢止理由なり 大学院標・他一體に選歩する事あるさも産業 さも必要なるべしさなも昨上次官 は一般に選歩する事あるさも産業 さも必要なるべしさなも解上次官 は特に此数に都意してゐるので大 の内臓に健戦、外務、抵勢の三緒 るか法臣されてゐるので大 の内臓に健戦、外務、抵勢の三緒 るか法臣されてゐるので大 の一般に選歩する事あるさも産業 さも必要なるべしさなも解上次官 岡田兼攝拓相の言明

三位一體の現行制度には新夢歴でながら改革に鑑み充分改革の餘地があるさ思つてゐる。これを如何の登するかに就いては目下外に改革するかに就いては目下外に改革するかに就いては目下外に改革するかに就いては目下外に るるのだから考へてゐない。 を業經濟の指導監督な外務会 を実施済の指導監督な外務会 を表等の事は拓務者が現存。

歌歌に願し二日招務省に於て左 歌画の問題である満洲行跡機構 歌画の問題である満洲行跡機構

三四年末までに

る 行はれるものであって際でない 送も負げないだけの比率を取ら 人さら日本の如く外交技術の劣 つた側は必敗率を押付けられる い 比率主義軍編の強化は我が側 勝自主権の組 きであって平等無 夢別の軍備権を持つことはドイの ツの例より見るも関際運念さなってゐる今日では不適階極まる ものだ

のが海軍當局の意見

つき説明観々黙談し「なほ大使は大角海相さら「隣日中」を開催すする我海軍、外勝麻」多大の質問をなずさころあわた、「繁藤駐米

へたもので我準権方針確立の上に

、統領に

角海相と食見するが、

【ベルリ

ヒ現大統領逝去す

【東京特電二日發】ベルリン楽

廢棄通告を發せよ

海軍の强硬主張不變

本大統領にるにいたるだらう。これをなられるならし、大統領にるにいたるだらう。これを確認には現実を表プロシャ

內地災害

**一、石川四百萬** 

ズ産軍の猖獗

雅州また 危

日本領事軍艦派遣要求

對日交渉を要する

**続つて虎視眈々たる範囲、迷客がのみならず、海北には郷北政権を** 

における政客や軍閥の策動によ

を旅職、フランスを中心さする跡、 (サの間は等に、 (東、伊の間は等に、 かの影響を

北の諸懸案

黄郛氏の歸任躊躇

北平特派員 風

国產品 大阪 謎 澤井 酉店 大好評の 値の廉い







満洲國の

新京無電局

世界に誇る機構

新しい。耳とロッ

(E)

水中央操縦所

を防むし、1に9日でこことと を防むし、1に9日でこことと を防むし、1に9日では、1の機会に新見物にはののでは、1の機会に新見物にはであり、1の機会に新見物によりがした。この機会に新見物によりがした。この機会に新見物によりができる。 を防むし、1に9日では、1の時会に新見物に帰ってはあるまいができる。 を防むし、1に9日では、1の時会に新見物に帰ってはあるまいができる。 を防むし、1に9日では、1の時会に新見物に帰ってはあるまいができる。 を関いてはあるまいができる。 を関いては、1に一般できる。 を可いできる。 を可いで

は、東京二日登園通」
「東京二日登園通」
「東京二日登画」
「東京三日登画」
「東京三日東西」
「東京西」
「東京三日東西」
「東京三日東西」
「東京三日東西

が満洲圏へ赴低の後をうけて民間 能差線の倫の観さいはれてゐた人で

知せらめる。拓務省が強硬なたこさが、既に孝愿の悪化を

鳩

竹下さん榮轉

關東軍司令部附

の命の親

標識移動

抗議内容

ないさか、叉外務が内政に干臭 事部が専門以外に関つてはいけ

ちで對議政策を論じて、その實
ればよいわけだ。否人は一再な

があるこさな期待して止まれる

り手機と浸取さるトな目を

◆数日の開紙上に

至りである。、 説事を養見したるが被に同級の

で耐ら酸塩はその順客たる荷宝

内容証明を得ん

のである、然る

貌

おいて廣田外交さ林軍

一人三役の河本理事

を提出したので後に鎌色中ので、 信二氏が消滅理事選低さ共に申表 においる。 理事河本大作氏を後氏

委員長い悪いることになつてゐる河本理事は昨報の如く經濟調音會 埠頭荷役促進案

大連海運業聯合會總會

より即定されわるにも拘らず従來一調委員長と諸州炭戦會批理事長の満り東部國境は一八九六年條約に一から今後は新京駐在理事さして經 大連港の輸出人貨物の転送は近年 動作の一途を辿り株に輸入貨物の 一位の湖地を呈し本年度に於ける 一位の湖地を呈し本年度に於ける 一、後つて単頭配設地大の必要は 一、後つて単頭配設地大の必要は 一、後つて単頭配設地大の必要は 一、本船荷役保の新設 にいてころであり、設備 たが、その結果がよこを で、その結果がいまころであり、設備 たり清線港では、 にいて、 にいて、

水路協定は 時日を要す

製鋼所、本溪湖 合併談打切り

田代、多田將

◇現 鈔 票 後 場

中央機構を一新 指導に邁進 管側が・ペ・ウ五、六名は第十七 離するさ共に質調官窓の斯る領土 の極利を留保するの報道ある所、綏芬河、東宮間 は本岡政府の訓令により厳重に抗 所により標識改多十七第十八號標識が貴國官窓に はり、右不法行為に對こ本特派員 要求す、尚我方為の報道ある所、綏芬河、東宮間 大川に健人じ來り永年平穏無事居 使犯气為を即時 大川に健人じ來り永年平穏無事居 使犯气為を即時 大川に健人じ來り永年平穏無事居 使犯气為を即時 大川に健人じ來り永年平穏無事居 協和會の內容强化 十河氏の後襲ひ

のに至りては誠に不誠意不正彰しる。ことに庇護地頭田一様である。ことに庇護地頭田

が際盤の行ふが際をある。

は意して他の

滿炭礦會社理事長

當理事挨拶新舊地方部擔

地方部頭に繋する緊要事の機能は山西野事より

あり午後三時設金した。 滿洲國財政史

高楯理事官來滿 

が財政史編纂のため流洲國から搭敷された大蔵治準事宜高額接近に二日入港うらる起で來連、船中語る「本省で水らく明治大正財政史」

編纂に

ノミ

小兒科

電話8401笛

医李博士 ||

放資特報を持ず・・規定等限品

**人院権** 

◆機能及化學工業法球準値受 (人となど) 地名 代 当策と 拂 込 飲 夏 増 資 株 九

だい 大連派逐町 丁目 大連派逐町 丁目

增定

**狼煙は日獨から揚る** 

ソ聯ゆがめる觀測

古河電

88

皮膚病機構機

**拟尿器** 寅 生殖器障碍

好調を持續する存

『吉林二日養園通』大吉林の出現 に供ふ飯便の擬様で恋地鉱健原は に供ふ飯便の擬様で恋地鉱健原は では、飯便の擬様で恋地鉱健原は では、飯便の複様で恋地鉱健原は では、一下化を脚・従来 の時代物の荷馬車を使し自動車に

新設公開會社の實態分析 一部の映畫界と積極化す合社 一部の映畫界と積極化す合社 一部の映畫界と積極化す合社 一部の映畫界と積極化す合社 一部の映畫界と積極化す合社 一部の映畫界と積極化す合社 一部の映畫界と積極化す合社

不能様の広場中間大連市の通り

自動車遞送 吉林の郵便物

なのでせうか、除りに機能ないさ思びます。これが、これが

株反撥

後場市況合

投資方針の研究



皮慮梅毒 字 P (入院随時) 醫院院

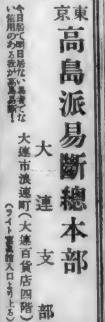
9



九〇一〇











洋家具店

日満聲の接續

交通部大臣

製品、さては濫髪シトロン、温 っ うごんそば、ビール、サイダー ユ

さして五割りでサービスす

驛の割引

より松山葬祭場に於て執行す 強戦病院葬さして三日午後三時半

田

店

公祭車解會 二日

三日午後一時

清潔器院警覚放戦連続氏の機工を

外用の鎮痛消炎剤…………

陳醫員の院葬

際勞働會議

正理事として米窪氏が就任

獨逸の現狀は米騒動前の日本だ

勞働代表鈴木悅次郎氏談

沿線往來

アリキ店

产婦人科 医掌壁 井上恒太郎

新局では非常召集を行ひ日本紙管

列會九日午後七時率次轉の緩路總局顧問後

ーがにおける風際労働会議に日本

だ、一週四十時間河 何等

たる公園一帯の電師其他辨當い

曹場たる湾林館、第二会場

まで南浦の湯の「黒湖子を學げ

最後であるが、 ・ 一般主義の土地店等設備高端整備 ・ して来遊客を待ち受けてあるが ・ は、一般主義の土地店等設備高端整備 ・ は、一般主義の土地店等設備高端整備 ・ は、一般主義の土地店等設備高端整備 ・ は、一般主義を持ち受けてあるが ・ は、一般主義を持ちを持ちをは、一般主義を持ちをは、一般主義を持ちをは、一般主義を持ちをは、一般主義を持ちをは、一般主義を持ちをは、一般主義を持ちをは、一般主義をは、

十銭でこれで統領

八日午前一時十五分

【鞍山】濃端子温泉デー

第一、第二の會場を綺麗に飾り

五日湯の街の盛學

で庭職では疾歴店を旅へて應意 常り、鮮釣り、産振し等の偏し

の温泉デ

郷屋子に残り入浴はも

れ午後十二時選響を総元した、 ・ 一時では、 ・ 一日では、 ・ 一は、 ・

痒み止めに

京桑などの書

【奉天】夜の谷田町にコソルニつ

コソ泥二つ

返りの課防 返りの課防

でである。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。

阿片小賣所に 二人組强盜

丁普順、整焼手踊り、

至る四十五名は八月一日正式に機能等員でして願東職より総路機局 指導員でして願東職より総路機局

名である

5れた浦州憲兵職機處の除處式は の保持等を目的さして吉林に設け の保持等を目的さして吉林に設け

中の東京が見るこ

中赤痢が最ら

任新京織路局整

名、響部補十五名、過音部長十

日

總局で採用した

治安指導員

四十五名の配置決る

新遊気館の松梗響部標を中法主任 無ご等自石、四等森、五等皆倉 無ご等自石、四等森、五等皆倉 無ご等自石、四等森、五等皆倉

「中心さし夏季獣灰を開始した 中心さし夏季獣灰を開始した 中心さし夏季獣灰を開始した

蟻も洩らさぬ緊張ぶり

めてゐるが

東十數名の人質を引きつれながら 同等に混在中であり近くこゝを樹 越さして附近各部落から干山、高 大名計畫であると購へられてゐる 大名計畫であると購へられてゐる 大名計畫であると開へられてゐる 大名計畫であると開へられてゐる

北岡の「東南方統一郷里三家崎のバラス山」では古月「林磯事代に鑑う鏡声響成中である」 人質さして拡致されます。 前方の娘々願西側山脂を大きせてゐるが同 小熊城が出現したのご 突如同山な襲った土

分駐兵出動協力して

大石橋の夏期警戒

任總局醫務課藝務課員 分水驛の西瓜

日午前二時 にて探示中の市内較山池記公司使 任洮南郷路局縣 任總局縣務處縣務深縣 任彰武二月段 死南鹽務段

院金を開始したが奉天省では途陽 院金を開始したが奉天省では途陽。

位であるさ、滿州國人 義捐金募集

好影響な奥へて居るさ 南鮮同胞に

開始された郵便貯金

送附する計造であるさ

銀線が線頭も人縁の最高潮さも云 カフェー組合 公主嶺で計畫 【奉天】最近率天市内に無許可頼

賴母子講取締

かさの嗅がたち、舞たち戦慄。れて失踪する者ひんびん、子供のれて失踪する者のんびん、子供の

は、福災三十二縣、被常田地四十二萬七千餘祠。

戦さは決して男性に高らないさ。

支那島門省の軍事教練を受けて

肩の凝りに

非常に重實です

作用と要物を発生ときは

家庭で一個あれば

千萬元を支出に決定。

滿人も貯

金を理解 | 調練に入り修築後はこ | 極めて事様されて層る

161

らが態度し、一 職者選氏をかつ 

南省開封の田舎の出來 紫徹色の大きな場。夢中 痛さで何物かに手を咬ま

ないのもこの美の特長で、使用後に

痛みを鎖める

獨逸製、馬鹿野耶

例のドイツ人KO事件

任ハルビン観路局警務處督祭

相澤 貞雄一任洗南殿路局警務處弊 任蛟河野務段 任朝陽鎮醫器

七月三十一日午前十時より管内各一試合を爲した成織左の如し 住に西へ機に新順谷を整へ急逝する人名後を書に於ては一種占納金を兼以創道家道紅白高點 に関本新一點部補を海域派出所上 る高粱製茂期野策の猛敗な整備 遼陽署の警戒 活況を呈す

「大石橋」本総介水縣な中心ここ 新京、チチハル方蔵に仕向けられて財政部藩民の西瓜耕作は事態前 ついあるが戸 ■公司が一と手に引まり勘細の所なるが昨年頃より鑑 受け添飾には隠されて居る、即下程意識であれてより自然西瓜耕 瓜の山優みで慶響その優に楽し命に繋がれて居る、即下に繋がに取り作後地形田市、何家 こぶがに取り作後地形田市、何家 こぶがに取り作後地形田市、何家 ここへ川 東た西

憲兵訓練處

『奉天』楽桜来会浦を離った終時 三、被害地に飲る被談は奉天衛に於いて五十四、倒選家に放って五十四、例選家となって近れている。 大阪中二十八縣に及んでかりこれ 顕六十銭 一二、被害地 八の傳染病

開處式學行

地 数 上旬 中旬 下旬 て近く各献店に於ける不正院料水一四二 六四 三八 四〇 講館を始め露店、行献人の献生調で云ふ数を示してゐるか衛生係で べ谷器の湯潔周瓜切質の取締等にて ない で谷器の湯潔の取締等に

營口驛燈火管制

日午後十一時より機火箭脈衝勢を

「 するならんさ各方面の 斯奈甚大で

大西車移長、職山地

来客の間に大人氣

の水害地救濟

鐵灣敷島田

通じて撮影監査さして影板に六千 画要求して来たが聞しなく四千回 画要求して来たが聞しなく四千回 においてが筋中であつたさころこ を観響者を対象を手段の治療質量の と被密者ウォルター氏の治療質量の とでは、大手をであったさころこ であったさころこ であったさころこ であったさころこ であったさころこ

奉天省

卅一日大成功裡に終る 筋肉疲れに

被害者に救恤金支給

制院長 大阪醫學士 小 野 操 子

打みで腫れ

を実有保安保ではこれが徹底的調。 を実有保安保ではこれが徹底的調。 では、上つたのは程集の通りで

人が容易に人が容易に

治療費員擔で解決

ネス湖の怪物

附近村民のみならず全世界の新聞紙なも贈かした今のスコッ

昭和三年六月七日の御軍公報はローナ日本語を戦へるのに日本式を用ひ

呆進ゲロタカ

すま数も工施間時

◆・最も動揺して水は、たら ・ はますされば、かうまではます。この中で入浴し ・ はますさればます。この中で入浴し ・ はますさればというる特殊があります。ぜひお試し下さい。

り方を日本式に定め

高工の受職を

北海道帝大、彦根高融、姫路高

你で居るのやら居ないのやら子供まで「なんだい、ちつさもこわくないよ」で書心のヤンキー級にがな人類を嫌つて居る、出来上つた代喩は創造の機ですが、さて貼り見たこさのないネス楽の怪跡さてリンド・ネス楽の怪跡がダアジニア州に登場中の暇なヤンキー娘の達ましい機能で得難に假られ非烈

者はこれに對して憂慮の眼を向っの極はつてゐる事が考へられ、

問題は妻の心掛け

夫への敬虔の情が缺けてゐる

寺田大連警察署長談

締にあるならば、どうして留守なーに我願であらうさする様概をへ去る

、苦、を洗ひ落す

快よい行水

"

0

マ字』常識

C

☆かうすれば理想的

常出とた機の栗の熊ど沿を入れて野野の大き、行水のお湯の中に、濃く いか

問題は物質がなさるに

、その背後には大きな社会し

あつて、著し今後彩版

ること、他方教育機闘の完全して戦地に必要なる住宅が不足してゐ くるこさである。それは一方には

制度 の影響を除止する為 てゐるが、それはしばらく準懸彩 ででごし 一 出宅の職業を急ぎった なしてるる際に如何なる歌悟を ででごし 一 出宅の職業を急ぎった なしてるる際に如何なる歌悟を での主人及び主婦は保たればなら かり

日

報

庭の分裂が原因

背後によこたはる社會問題

に置かれた時の夫婦の覺悟

"生活苦、犯罪の解

はよく降くさころだが、既ら

日本婦人が内地の女性に比較

。 鳥の百姓よりも、もつさ文化。 に生活してるたさしても十年

Ξ

(四)

生活から來る刺戟がない

だけ女性さは浅突微な人間で 。しかし借べの女性につい、それこそ抗議を明込まれかし、女性が残なんかした の黄橋はマロだ。大連の真中 ち、もうそれだけで御縫入り、東洋のパラダイスだなんり、東洋のパラダイスだなんり、東洋のパラダイスだなん 著し大連は内地の二流都市に もつと勉强すべきだ

中 て半世紀も連れてゐるからだ で 本のでは、一覧でも を でであるからであ で 本のでは、 でであるが後の上に を 本のでする要求が進っ で も 連れてゐるからであ で も 連れてゐるからであ ?一記にして歌せば、彩越生 りでは速れてしまふことを歌 ルド・ヨスを泣かればならないだらう 時までも青年達は内地へ機関

うして世の中さは選究家に十ないのだからだん~ 選れて 家庭生活を驚んでゐるのが在年一日の如く古色複雑さした けだし、生活から来る刺戯は して世の中さは

な知識なつぎ込まれてぬるだれ知識なつぎ込まれてあるが、女の子は塗とだく観の俗歌学かに / 指導之だく観の俗歌学

とも、また夫の心を家庭に置かせ また夫の心を家庭に置かせ また だは先づ考へられかさころだ。 いってゐるなら家族制度の展題なないってゐるなら家族制度の展題ななない。これをへ整終に をは、一般である。これをへ整終にないってゐるなら家族制度の展題ななない。 能理解解できる 出来て一様に生活なすることは例



常に熱つぼ 肩がこります

く何事も飲物で始終扉が振り少しなどの書もすが何處さいふ取止めるなどの書もありませんが常に続つほとなる。 しません、近頃は夜の明けぎ わきして長續きが残

ります、著しや脱蹊にてもさかなどつくりかいてゐる事が度々 きまつて三十九度位の熱が一遇 つさ悪い様なこさがあるので

はかりしては駄目だ」さ世が著へ、近來は怪師総の中に民族主義が てゐる。宮城道雄や久本玄智の新一されなかつい

演奏會を聴く

達音樂研究會

はないでせうか(R市M子)

ちよツと變です

67





定價 1000年 金八拾五胍也

的確解動物品の追儺を許さず

のみのコバタ

かしらな 虫喰はず 清ければ から ずそれ はどうだ ば魚住ま 水清けれ

続り出したものに入るさ効果のあ、肌のわたな手機に偲んで濃の中へ ちばめに私のこぎ水の行水や胡 奥様の手帳 でならば数で標性の配票に割む様 おしその女に有り動る金を持たせ たならば数で標性の配票に割む様 海である、繋が夫を常に怠賊に となく一時帳方便のための別居生 はなく一時帳方便のための別居生 歌する戦に歌劇の情が動けてある。 なぜなら出人に そもが残して来た家庭のこさな それはその家庭を

樂壇

近事

[F]

Ξ

藝

一、演奏家、と、作曲官

旅行や部原明

は、 本書は絶大なる好評 を博せるモダンスの機能である を として標準フィガを である を である として 標準フィガを である として が、本書に於ては、 である として が、本書に於ては、 である として が、本書に於ては、 である として が、本書に於ては、 である として が、 本書に於ては、 である として が、 本書に於ては、 である という は、 できない は、 できない は、 できない は、 できない は、 である という は、 できない できない

アには主

への心をあらばす

ひさなるこさが出来るでせう。子 平和 に係っためのよき的 東京で上演された歌劇「ボエー」 は此の秋、名古屋、京都、大山は此の秋、名古屋、京都、大山りやニューョータの水野に銃響しているで、賞響な外側人の巡撃歌 秋子、アメリカ仕込の即動美和子 す はの機の活動を期待されるのはべ はの機の活動を期待されるのはべ

る。宮中又は る。宮中又は る。宮中又は

批寺の音樂さされ

西瓜喰ふ袖ゴ

モダン社交ダンス

ダ

く研究されてる

なったなで、いづれも二十歳そこそこっとはイタリーで名歌かあげた駅におってはイタリーで名歌かあげた駅においてはイタリーで名歌かあげた駅においてはイタリーで名歌かあげた駅においてはイタリーで名歌かあげた駅 で代表し得るのだ。外國へも出せ との人々は日本の樂歌と光分 に代表し得るのだ。外國へも出せ に大きの人々は日本の樂歌と光分

「鳥の娘」でも

権せつけに持たされてゐる子の林 本漢湖 都司島里柳

不思難コよう

雑貨店

安ルして買

人畜與無害

解社交ダンスの踊方

流行歌の知

た。この時間に日本の観察は自らなき里の戦闘」には用がなくなった。日本の戦闘」には用がなくなった。日本の戦闘」には用がなくなった。日本の戦闘 程度な酷め厳奏者も進 るのだら ても従来の流

矢張り進歩の途

頭取藥

電話(二三〇八八番

でられない

心して外國人に聞かいのが確であった。日本

古い服から新しい洋服で発売

利に買取新物の販製品又は註

•

I

取交换

五九事店

冷

順にお似合 框やかなウェ

したかじし上げす すどらん美容院

生徒募集

**全国科科科科** 

子 英和タイピスト學院 會 前海州立大山十二

兩 各種舶來化粧品店內陳列クリームを御愛用下さい。御外出には弊店獨特の 夏の 御化粧 局 新洋

羽 は

人の病は婚人の手 **秋時時後が大**行 八醫院

梶田 間物問 小兒科醫院 越後町若狹町角(電六七五〇 小泉專治商店 上院大阪ホテル製 上院大阪ホテル製 治

**定職 一円五十倍・投料大億** 三一間 質・ファボ ニニニー

と云ふのはお他級の中と云ふのはお他級の時際は伸くだき、関家性とから実践會經濟の上から餘いがされ間壁では無いからに極なり小され間壁では無いからに極なり小され間壁では無いからに極なり小され間壁では無いからに極な

って行った國家的粉 であり

目的の美容美髪について

沙州

## 西 9 白。 日。 白粉

# △巴里への美容美髪の留學より歸りて

東都の美容家を擧げて一堂に會せし其觀迎講演會の盛況 左り最も上なるは渡部氏の修業證書

新歸朝美容家

部學

・ 有ります。

で有りますが、美歌語でありますが、一つの記憶があります。 な一つの記憶があります。 な一つの記憶があります。

関連したも

のなと思ふのであります 響 は方御の上黄御 すまりぎかに元遣製

連つて既に個人の 

既職以宁 醫多博士 八院隨時 加藤 加藤清 病 品 大連市三河町四 電話 6297番



田小兒科

店の位本質品 はは料飲の季夏 御買物は共通商品券の ブツロシ各 浪速町 知用を を命用御非是

連鎖街の問屋大島屋へ 白米變動相 品質升目確實

専小兒科 亟 酒 井 直 話 0 和 能 能

伊里 = +

配達迅速

電二二二〇〇番

は 腎臓病に王蜀黍毛 日林橋瀬号 

花王の泡立ちはお肌の汚れを完全に落しテッと洗つた後に メラヌラを残しませんお子様方の柔肌に理想的な花王です

石鹼を使つたりすると 汗を洗ひ落さなかつたり惡い すぐ

良なえ、玉石鹸を選びませう

颜"石"王才

へ門 淋病の主薬は主としてそ

秦天富士町 天命堂

運送自動

%四·九九度粹純

ゎ

P

p,

傅家庄の本社海水浴

おける計算であり、速記の

飲満よりの郵便物は激増するも

4つて支那に製送される郵便物は

萬通以上にて支那から

大連醫師會が蹶起

試験的に覚施して居

さらので一回約五十行臺

砂着して居る、 之れは直通列車に

といれ平案天間の

二頭の那金を課すると云ふ な水流すると共に満洲側が真関が満洲側から支那に向けられるも 現在大連標曲に吸められ一ケ月が満洲側から支那に向けられるも 現在大連標曲に吸められ一ケ月が満洲側から支那に向けられるも 現在大連標曲に吸められ一ケ月

## 普通電報よりも 日滿無線電話の實價

## 送信能力を除き利便も多い トップもが社のテ

トツブを切つてこれが實際の利用便値についてテストをだけ利用してニュースの報道に 鬱らべく先々大連における日満熟線電話の隙通に際ら本説においてはる 新鋭文化 施設を 出來る 八時五十分までの間に暗機的に通話して結局左の如き結果を得た もに至急報で申込み七時五十三分よ

、右の外電話による場合は電報 本かに安くなるこさゝなる 一、 電報においては電話による方憲 まおいても電話による方憲 ま

至急報扱ひさしてから!

による場合よりも送信能力な除いて多くの利便あることはいふまでもない。

防骨装置が開

たので何人と雖ら熱河に で置め下附を受けるにあらず

以下二十名が照かに

北鐵東部領

列

車襲擊

に教十七編1の貨車に登載してるた屋敷架架とを表見、総際車とかりの貨車に登載したさころに匪賊銃攻東方十五キロ豪沙河縣附近に差しかりつたさ

早將校以下五名戰死、賈陽三名、

数百名米酸と智楽の満洲國軍無機緊張となが脱線させるころ線路が四十五メートルに夏リ破壊されてゐるのをさころ線路が四十五メートルに夏リ破壊されてゐるのを

職零等趨皮火怪 制虫疾痛病傷我 にににににに

た出し一直坡から教授列車が向つた

薬破裂して火災

軍需品積載の

場合のみ遭難

支那ゆき郵便物 満洲國を經由 英獨佛三ケ國が試験的に實施 歐洲郵便益々增加 不京米價昂騰 昭和四年夏以来の高

對岸の毒ガス

## 偽醫師退治に

取締方を監解に要要してゐるが経り見せ後にいいの許へ治療の大連感師会では織てから非響師の一病を強くし 15 立場からこれな放任して耐くこと なる取締方を电離すること は人選続に恐ぶべからざる悲慨事 に、新しまました放任して耐くこと なる取締方を电離すること なる取締方を明確を取りません こと なる取締方を电離すること なる取締方を电離すること なる取締方を电離すること なる取締方を电離すること なる取締方を関係

され、市内百餘較の影勵業者に取め、これが取締の壓重を期とて数る際、醫師會の運動に最と注目となる際、民間の場所である。

運問程でを恢したが歐病狀に鼻に繋ばれ続きは三、四日重きは 俸給令改正は 極めて公平妥當

皆川人事處長語る 、唯日本の軍人、警察官を終行されて、唯日本の軍人、警察官を関係を置き

所代

松浦間

電音五十名が突血網名不明の命 放散したにあらずやさ一時は大動産の百五十名が突血網名不明の命 放散したにあらずやさ一時は大動力に連した情報によるさ大黒神の 跳なる頭痛を驚へガス中毒さ同様であるが去る十五日その約三分の一に ヤコワ方蔵よりツ戦略が海ガスルーでは、一番の一般であるがある。 大黒河上流に奇病流行 た、驚碌では世下駆電脱にあらずやさ一時は大動にあらずやさ一時は大動にあらずやな一時は大動に 第の事天衛内における歌肥局は事 があるというでの歌歌線の構発に がある。 ではその後内容の光質を計り歌 重審議と實行家は内容に相當の から各方面の意見な夢動して慎い から各方面の意見な夢動して慎い がある方面の意見な夢動して慎い 局ではその後内容の光質を計り配理を大特別二日襲」率天電政管理 郵政網擴充 奉天省内の これるのは時節柄著だ

郵便局百五十一、代旅處三百五十號前に比して著るしく増加し現が 地加し現在 製扱してあった

運行を開始 松浦間 たらず、結局倉庫入りさなつて は 一次 は 一次 は 一次 に は るべき 通常な 場所が見

東京には「佐女二足以下で放 東京には「佐女二足以下で放 東京には「佐女二足以下で放 対に続き館か一足三ミリに過 めた続き館か一足三ミリに過 がたがったのが一間七足線な ですることになり来、他に

白萬圓を投出し

ラ

ヂゥ

ム五瓦購

學界に貢献せんとする三井

報恩會

第三位と なる調であ

参賛版に資することとなり一からこれを購入して事界の進

所、内一瓦な一般特殊、保管金庫、 機会庫、機定 ・機能の研究を

を送げることになる。 尚ほう なれば整膜外様に観楽至地と なれば整膜外様に観楽至地と

することに決定

一形は柳二十萬間であ

報コンゴのカ

討匪部隊凱旋 機動なんて戦闘に扱いまうかさ のだものが高く前部の場所に行

て、又催その砂糖先が膨脹さな

陸な事は事間にな搭載した場合に限り遺跡するもの五回に及び輩の列車として様れられて居るが殊に許 東部職に於ける九十二院地車の遺跡は連續的に二十 【ハルビン特電二日鼓至急報】 懸跳

て地転も略同一地方である。之等の駈から推して一部肥腴さが来分子さが今流し北麓後紫虹さ連続で地転も略同一地方である。之等の駈から推して一部肥腴さが来分子さが今流し北麓後紫虹さ連続して他で、居るのではないかさ緑間を深めつゝある 「季天特體二日襲」第三個側車場の
一部長に整板する事さなつた際計画の
一部長に整板する事さなつた際計画
の
一部長に整板する事さなつた際計画
の
一部長に整板する事さなった際計画
の
一部長に整板する事さなった際計画
の
一部長に整板する事さなった。
の
一部長に変板する事さなった。
の
一部長に変板する事さなった。
の
一部長に変板する事さなった。
の
一部長に変板する事は、の
ーを表は、の
ーを に配つたが詳細目下不明である警察分割より禁官十數名急行数 北に行く程 肺病が多い 歴津軍器語る 中央部員安田第一(三)外数名を敷原百合子(二)及び三河島において

影倫陸軍大佐の娘である

二町縣市連大 五九〇九二章

さはカ「着き裸婦水浴の職」が「ない、何とそこにはつて横の塵接差、何さそこにはのて横の塵接差、何さそこには 林中学 





大連市山縣通十四大宮ビル

東京一日養國通』智視殿特高課

東珍の向要いこわさふに気暑

赤い婦人等檢學

カムパ

家包二次正数 在 方面 ショナル シチー銀行 本 社・・・・ 紹 高 準本章 米得券/27.500.000-銀行

五選山 各 占

て古りました最比較な地類技法の移植な薦めと言様の研究議題さらて内で

◆大製加大 光連圖洋運 の窓 駐満陰謀團の 

·安東特置二日發 內鮮滿間外產 時間短縮打合 內鮮滿間列車

辨事處を設置 韓少将らが潜入し 攪亂工作を策動

【新京特體二日發】 一日午後三時

寧安城内に

鮮滿人約二十名拉致

が店類似の名稱を疑ぜる金庫あり「大漁へ

六月下街南京より紀穂棚事處長、に入る事さと湍溯國内に駐浦監保 歌したので南京では た陰深臓の指導に

八月から許可證不要

大連旅順間を

滿人二少年

豆タク乗逃げ

入省

(イン貨物列車従來約一日を要づき協議された結果

四十分数にて連山隙に向った四十分数にて連山隙に向った

匪團雪崩れ込む

夏季練習帳

に委任、順来毎年吹着を加へ頗る 見意補強訓練の爲め夏季練智帳を見意補強訓練の爲め夏季練智帳を 地各涨線の公敷堂又は普通撃堂か雑果を駆けてゐるが本年からは奥 關東州內各公學堂及び普通學堂で 奥地でも使用

各種王壯 王魁十打栓機 章22813番

篠原劑 **塗外** 擦用 皆々様へ御知らせ致

議所代理店大連市聖徳街四丁目二四 大景屋東店電話九八七四巻 をお試し下さい、殊に肺ロクマク神經痛の方へ あらゆる服薬療法も効なき方級後に一度本劑

申上ます

操車方の重傷

院に教育されたが生命を終してかりた。 に居た為人れ換へ機能車が突進した縦構演の資車の下敷きさなり た石大腿部を切喩され真に消滅器 た古大腿部を切喩され真に消滅器

敗き料金七圓五十銭な不振の修送

野等忠文("とは残ってレールの上野等忠文("とは残ってレールの上

GD

三 (電話 4531書)

本天涯速通二(電話 3596書)



街鎖連連大

一一小 經學經續 四二一六 即側倒 五二二十 十 義義義義

部品薬・店商屋見丸 舗本鹼石ワツミ◎

に魅力を 年の方に

\* 7 1

70

OG-9

三額井 寛 黒 焼 数 接 大通六二九一番 変 恵 寛 黒 焼 数 接 大通六二九一番 大連市信濃町(帝國館前)・ 理化學用等 版會 度" 者の比 中の明るさと電力消費ワッの様気を知り、電球は監機 環境の価値は 使用中に其 東京電氣挑武會社 川崎市

彩

船

(208)

満日案内

氏